日伯新聞

ブラジル國サンパウロ市リベロバデラ街一四六番地　日伯社
發行所
本紙定價一年金三十ミルレース
外國郵税共金六十ミルレース
廣告料一行八百レース
十四字詰一行八百レース
一面及八面二百レース增

Caixa No. 375
Phone. 2-3926

大統領選擧戰

モウ後三週間で大統領選擧が行はれる、今回は珍らしく候補者が二人立ち堂々と爭ふことになつたが、それだけブラジルの政治が進歩したと云へよう、共和政体になつてからこの方一二度二候補對立のこともあつたがいつも問題にならず、事實上大統領の後繼者指名で終始して來たものである。それが今回に限りミナスとサンパウロとの後繼爭ひが變にコヂれ、其處へ持つて來て近年擡頭して來た民主黨と合致して、兎も角も候補者を押立てるまでの段取りとなつた、選擧戰を前にして兩黨の分野は餘り開きが多く、政府は殆んどブラジル全國を擁してる間に、聯盟派はミナス、リオグランデ並パライバ州の三と、民主黨發祥の地たるサンパウロ州の一部が之れに加擔するだけである、表面相撲にならぬやうであるが都會地に於ける聯盟派の得票は存外馬鹿にならぬものがあり、殊にリオ、サンパウロの如き都會においては比較的民衆の政治上の理解があり、對政府彌次氣分と相待つて可なりな票數が聯盟に取られるかも知れない。

これまでの二候補者對立の場合と比較するに、今回のは双方眞劍である勝たんが爲めには手段を擇ばないと云ふ樣子があり〳〵と見える。政治は公明ならざる可らずとは能く云ふ所であるが、これから出來て行かふと云ふ新らしい國にそんなことを强要するのは野暮な話だ。殊に今漸く政黨らしいものが發生しかゝつてゐる時代において、その政爭が定規を逸することある可きは、寧ろ止むを得ないこと、許さねばならぬ政府がミナスリオグランデなどに軍事的干涉を行ふかも知れないなどの風說あるのも政府としては蓋しやむを得んからであらふ。

吾人は來る可き大統領選擧がひたすら無事に終了せんことを衷心から希ふものである。實は今回の選擧戰は行掛上兩方とも大分意地が募りその爲め莫大な費用を使つて居る時も時ブラジルは四十年この方の不景氣に見舞はれ經濟界は大分ハケ敷なつてをる、從つて一般民衆の希望はどちらでもよい早くきまつて國内が落付き安心して産業にいそしむことが出來ればよいと云ふにある。實際今のやうに大統領選擧に熱中するの餘り、他は殆んど手が付かぬやうな体爲ではあるむこと民衆の迷惑するのは無理もない。

今次の大統領戰で最も惧られる所は、勢の起くところ武力に訴へはせぬかと云ふ點である即ち悪くすると革命騷動が起きはせぬかと云ふのである。何とも云へない。從來は二候補對立と雖もその勢力が餘りに相違して居たから問題にならなかつたが對立が七三から四歩六となり五歩々々となると爭ひは激烈となるものである。ブラジル人は支那人やメキシコ人に比ぶれば遙に殘虐性が少いからあれまでには行かないだらふと觀測する者もあるが、ブラジル人の基本を爲す葡萄牙本國を見よ、大統領選擧毎に武力沙汰は絶えず、ついてるではないか、而もその同じ血がブラジル人にも流れて居ることを忘れてはイケない。機會が來れば可能性はある、ただこれまで機會の來なかつただけで今後政情の推移で、どう變化するか豫斷を許さない。

目下のところ民衆の希望はどちらが大統領になつてくれねば困ると云ふほどにハッキリはしてないどちらでもよい早く形付いてくれる方がよいと云ふの動かぬ所であるらしい。吾人も亦それと同じだ、早く無事にすんで呉れることを希ふのみだ。

▼政界往來▲

上、下兩院議員
立候補者の顔ぶれ
各派の公認候補者其他

來る三月一日大統領選擧と同時に行なはる可き聯邦下院議員總選擧と、同上院議員三分の一の改選問題は、大統領選擧と云ふ大問題の手前、殆ど民衆の間から忘れられた形であるが、共和、自由兩黨ともそれ〳〵補候者の選定をして、候補者各自は云ふ迄もなく、各政黨の間にも大統領問題と共に、相當選擧運動が行なはれてゐる。

本稿締切り迄に發表された各地の上下公認候補者氏名中その主なるものを掲げて見ると、

ミナス州共和黨　一月廿六日發表

上院、オレガリオ・マシエール
下院、第一區
コルネリオ・ヴァス・メーロ
エウレール・コエリオ
クリスチアノ・マシヤード
グデステウ・ピーレス
（以下略）

第二區
ピーアス・フオルテス
ジヨゼ・ボニフアシオ
フランシスコ・ベイショット
（以下略）

第三區
リベイロ・ジユンケイラ
エミリオ・ジヤルデイン
エウジエニオ・オメーロ
（以下略）

リオ州、自由黨、廿九日發表

上院、アルフレド・ベーカア
下院、第一區
アルツール・ヴイクトル

第二區
ジヨン・ギマラエス

第三區
エレニオ・デ・ミランダ

南大河州、共和黨、廿九日發表

上院、バイン・フイリオ大將
下院、第一區、
アリオスト・ピント
カルロス・ペンナフイエール
シモエス・ロッペス
リンドルフオ・コロール

第二區、
アグスト・ベスタナ
ジヨン・ネベス・フオントーラ
ニコラウ・ヴエルゲーロ
セルジオ・オリヴエイラ

第三區、
ドミンゴス、マスカレニヤ
フランシスコ・フローレス
ジヨゼ・バルボーザ
ベルナムブコ州自由黨　三十日發表

上院、ダンタス・バレツト
下院、トーマス・ローボ
アルツール・マリニオ
マリオ・カストロ
ベルナムブコ州、共和黨
上院、ジヨゼ・マリア・ベーロ
下院、第一區
アンニバール・フレイレ
ジヨン・エリジオ、以下略

第二區
レーゴ・バーロス
バルボーザ・リーマ
コスタ・リベイロ、以下略

第三區
ペソア・デ・ケイロース
ソート・フイリオ、以下略

パラナ州自由黨、三十一日發表

上院
オタビオ・アマラル・シラバ

下院
ベンジヤミン・リンス
アントニオ・マシヤード
ロベルト・グラツセル

レシツフエ市に於ける

自由聯盟派
遊說隊一行

既報の如くジヨン・ペソア氏歸國の際行をともにして、北部地方遊說の途に上れる自由派遊說隊の一行は廿八日レシツフエ市に着、同市としては萬古未曾有の熱狂的歡迎を受けた。

押し寄せた民衆は、折り柄の雨にもかゝわらず一行の分乘した自動車を圍繞し、行列を爲してデアリオ、ダ、マニア新聞社の前迄至り、ジエツリオ・ヴアルガス、ジヨン・ペソア、アントニオ・カルロス氏等の爲めに歡呼の聲を擧げた由。

フローレス・ダクンニヤ氏

近々大森州に遊說

自由黨では、自黨公認候補ジエツリオ・ヴアルガス——ジヨンペソア兩氏宣傳の爲め、こゝ數日中にフローレス・ダ・クニヤ氏を始め、アンニバール・バーロス、カザール・レオニーダス・マツトス氏他數名からなる一隊の宣傳委員をマツト・グロツソ州に派遣して、州内各地に宣傳行脚を爲さしめる由。

内務長官ファビオ氏の

地方遊說

去る廿六日モヂアナ線特別列車にて州内務長官ファビオ・バレツト氏はアルチノ・アランテス、アルマンド・ブラード、ロベルト・モレイラ氏その他と同伴モヂ・ミリンに出張、同地サン・ジヨゼ劇場にてジユリオ・ブレステス——ヴイタール・ソアーレス兩氏の宣傳、及び聖市第三區より立候補せる氏等の政見發表等あり、同日午後イタピーラに向け出發した由。

アントニオ・モニス氏

上院議員
立候補を斷念

アントニオ・モニス氏はバイヤ州自由黨から上院議員として立候補を宣言してゐたが、一日サルバドールにて開かれた同黨委員會の席上にて、上院議員の立候補宣言を取り消し、只下院議員候補として出馬す可く發表した。理由とする所は同州共和黨からジヨン・マンガベイラ氏が立候補して居り、マンガベイラ氏はバイアア州が上院に送り得る代表者として最適任者であり衷心からマ氏の當選を希望するが故である。

バウルーの
流血騷ぎ

一日夜バウルー市に選擧問題からの流血騷ぎがあつた。

同夜ルイ・バルボーザ廣場にて政府派の大統領選擧宣傳野天演說が行なはれたが、群集中に在つた聯盟派側の野次は政府派側の辯士醫師リカルド・ファリア氏をして演說を中止するの止む無くに至らしめ、聯盟派側代つて演壇に立ち、續いて市内目抜きの場所を練り歩いて自黨の宣傳中警察側と衝突して多數檢束者を出し、殘餘の群集は檢束者を取り返えす可く警察署前に殺到した時折り柄睡眠中だつた一警兵が慌てて群集に向け發砲した爲め、群集中の一人フランシスコ・フエラス氏は足部に貫通傷をうけた。

モダーン
禮儀作法 (3)

加藤久美

一ケ月ばかりの間つづいたので今週位が丁度汐時と、大向うから聲のかゝらぬそのうちに退散する事にします。少し題名とそぐはない内容になりますが、そんな事はとりたてゝ腹をたてるには及ばない事でせう。

三、現代の特産物

ブラジルでは未だ獨立した職業として認められては居ませんが强いて名づけたらモデーロとでも云ひませうか、マネキン・ガール……これはフランスではじめたもので MANNEQUIN と書かなければならぬさうですが語源はオランダ語の MANNEKEN で一人間一の愛稱ださうです。立派な日本語になりまして、マネキンと言へば巡査試驗應募者や映畫說明の卵すら、ちやんと知つてゐるらしいやうです。

しかし醜態なのは、ステツキガールとかハンドバックボーイとかの類ひです。どうもこんな閑人の世迷ひ言は御免です。

それ故に治つてる

屁蟹入道

聖市總領事館　近年になくよく治つてる　といふのは誰一人として中島總領事に齒がたたぬ　理窟でも議論でも直ぐおつかぶせられてペチヤンコぐうの音も出ない　いや結構なことだ　だが情ない事だ

モダン・ガールといふのが確か斯ような變な言葉（乃至は概念）の元祖だと心得ますが、これとても英語（米語）の MANABOUT-TOWN と同じく甚だ概念的なものです。何でも小說家などが一寸變つた（御自分達の眼から見ての意味です）娘をみつけ、口說いたらスルツと鰻みたいに逃げられたので、自分のお面の拙いのは省みず、あの娘は確かに構造から違つてゐるよ、男性を忌避する細胞の組成が變つてゐる、近代それ自身だ、近代娘、さうだ、モダン・ガールがいゝ！などといゝ加減にこさゝ上げたお伽話なんです。

よ略してモ・ガ。お終ひには單に魂の香ひのする古洋服を着た斷髮の女といふ事になつてしまつた日本語です。

モ・ボなども同じ事です。モダン・ボーイは近代的憂鬱と近代的快朗を同時に兼有してゐる彼は魂を惡魔に賣つた代價で肉の世界に神の悦びを得る。彼は古典を輕蔑し、現代の頂上に立つ——御冗談もんでせう！だ彼等の憂鬱なのはお小遣が無いせぬですよ。古典を讀まないのではなく讀めないのです。現代の頂上といふのは何處です？教へて下さい。私も後學の爲にマルチネリイのテツペンを掴めるつもりで立つてみます。

酒落なんですが。只。でなければ言葉の綾なのです。皆さん、人間の組織や細胞は滅多に變化するものではありません。自分の『新しく』ない事を心配する事なかれ。皆サンタクロースの歷史もない、下手な下等な……

四、戀愛の法

戀愛といふのは古いものですこれほど、古來、歌はれ論じられたものはないでせう。私如き青二才が酒落以外の意味で云々すると間があたりさうです。

有女懷春吉士誘之といふのがあります。娘がゐて、年ごろになつたので、何となく結婚がしたくなつてゐるのです。そこへ好青年がやつてきて春を囁くのです。エロースとプスユケーの戀愛、ダフニスとクローエーの戀愛、ツリスタンとイゾルテ、エローイーズとアベラール、日本の例は多すぎて勘定すら出來ません。

戀愛ほど永久性のあるものはありますまい。永久性といふのは、つまり人類全體としての意味です。眞善美の規準は暫くして變ります。バンタ・レイ。

しかし、人間の男と人間の女が戀し合ふことは、人類と共に永遠につづくでせう。

近ごろの戀愛青年は意氣が足りません。非常に弱氣で、ちゆちよばかりしてゐて、一向に度胸がない爲に戀を失つてばかりゐます。一つ、戀愛の心得を傳授致しませう。

昔、齊人、金を欲する者あり清旦に衣冠して市に之き、金を嚮ぐ者の所に適く、因つてその金を攫みて而して去る、吏捕へて之を得て、問ひて曰く、人皆在るに、子、人の金を攫むは何ぞや、對へて曰く、金を取るの時人を見ず、徒金を見るのみ。

いゝですか。この意氣です。鹿を逐ふ者は山を見ず、等といつて嗤ひますか、我々青年はダン然、山などを見ずに、美はしい牝鹿の後を追はうではありませんか。不見人徒見金。列子はいい事をいつてくれました。どうです、この心がけで一つ行かうぢやありませんか。

——（終）——

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIOS
Rua Cidade de Toledo N. 25
Caixa, 911 —:— Phone, 2837
End. Telegr. "TOZAN"
SANTOS

◎弊店取引方法ハ
サントス市
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミヅカミ、イ、コムパニヤ
郵函　九一一號
電話　セントラル二八三七號
電信略號「TOZAN」
◎御照會次第御回報申上候

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
RUA DA CANDELARIA NO. 28
CAIXA POSTAL, 380-RIO DE JANEIRO
切り取りて手紙の表にはられたし
リオ・デ・ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

金送里郷
一、御送金の伯貨は當店にて受取たる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本内地郵便爲替料其他總て當店にて負擔致し卽ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り届け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶横濱正金銀行勘定として
Banco Commercial do Estado de São Paulo
又は御便宜の方は
Banco Noroeste do Estado de São Paulo
へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず當店へ御送り下されたく候

金預
日本貨定期預金利息　六ケ月以上年四分五厘
伯貨定期預金利息　六ケ月以上年四分五厘
伯貨當座預金（小口）　一ケ年以上年五分
▲預送金用紙は御請求次第直に御送り可致
御不審の點は御遠慮なく御問合被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候
聞御申込の際最寄郵便局御指定相成り候はば御便宜に有之候

THEODOR WILLE & CIA.
RUA LIBERO BADARÓ, 52
Caixa Postal, 94 - S. PAULO
諸君の牧種は常に土壤中の養分を搾取してゐるのですから此の重要なる成分を旨く土壤へ補給してやるのが如何に必要であるかを御考へ下さいその必要を充たす爲めには弊商會のチリー
テオドル・ウヰレ商會
硝石等の肥料に及ぶものはありません
肥料は一切の作物特にバタ、ミリヨ及野菜等に効力卓絶であります
◎チリー硝石　◎加里肥料
◎レナニヤ燐酸肥料

F. S. Hampshire & Companhia Ltd.
S. PAULO : RUA ALVARES PENTEADO, 17 SOB.
SANTOS : RUA 15 DE NOVEMBRO, 147 SOB.
日本郵船
母國へ一番早く着く船
◎神戸までサントスから六十三日
日本郵船の船は毎月一回南阿經由神戸に向けサントスを出帆します
船内衛生設備の完全、食事の優秀、乘組員の懇切については定評があります
若狹丸
二月十七日　サントス出帆
神戸又は横濱迄（一等　二三〇〇ミルレース　二等　一六〇〇ミルレース　三等　一〇〇〇ミルレース）
日本からお呼寄せの便法
日本から呼寄せられる方の乘船賃を當地郵船代理店へ豫めお拂込になれば乘船券發行指圖書を差上げますその指圖書を日本内地の御本人にお送りになつて乘船地の郵船支店で乘船券と引換へられるのです、この取扱は送金の費用や手數が省け且つ最も安全な便法です
——出帆日取其他細詳は上記代理店へ御照會願ひます——
日本郵船會社

○電報○

世界外交の中心 ロンドン會議に移る

その後の經過

三十日朝ロンドエームス會場にて軍縮會議總會開催せられ米國全權チブソン氏の最近數年來各地にて催された軍縮會議經過の討檢、及び英、米、佛、伊、各全權の本會議今日迄の經過に對する感想演說等があつた。

伊國首席全權の聲明

右總會の席上にて伊國首席全權グランヂ氏は右の如く會議に對する一種の最後通牒的聲明を爲した。

伊國は根本的軍備の比率及び總括的最大限度の頓數決定せざる限り、他の如何なる種類の會合にも出席せざる可し。

佛國全權タルヂユウ氏歸國

ロンドン會議開會後すぐにも一時歸國す可く傳へられてゐた佛國首席全權タルヂユウ氏は、三十日の總會を濟ませた後一日の夜歸佛した。

首席全權代理としては海相にして全權の一人なるレーグ氏を殘し尚その上、タルヂユウ氏歸國後の閣議を濟ませて外相ブリアン氏をもロンドンに派遣する由

タルヂユウ氏歸國の目的は、同氏不在中堆積した國政上の諸問題にもあるが、その主なる目的は最近急進社會黨首領グラヂア氏辭職に依る同黨の動よう調停にあるものと見られてゐる。

Dr. Augusto Matuck
診察所 R. J. Briccola, 2-Tel. 2-0445
住宅 R. Siqueira Campos, 32 Tel. 7-4637
S. PAULO

痔疾出血
靜脈こぶ
無手術、痛みなしの最新式治療
午後二時より五時まで

獨裁政治の末路？

スペイン宰相リベイラ將軍遂に辭職

一九二三年九月、ガルシア・ブリエット內閣のあとをうけて組閣、爾來六年半の長い間、徹頭徹尾獨裁政治に終始して、伊國のムッソリニ、土共古のケマルパシヤと共に力の政治家としてその辣腕を揮つて來たスペインのブリモ・デ・リヴエラ將軍は遂に去る二十八日閣員全部の辭表を纏めて提出、國王アフオンソ十三世陛下の勅許を得て、總辭職した。

內閣投げ出しの原因は、過去數ケ月來國內に擡頭し來つた反獨裁主義の急激な氣勢と、軍閥巨頭連の反リヴエーラ熱、それに最近ヴアルセローナにて現役海軍大將の要職にあるカルロス親王の解職に關する政府發給の辭令に國王アフオンソ十三世陛下が裁可を拒絕された事等がその主なるものである。

アフオンソ陛下は直ちにダマソ・ベレンゲル將軍を召して後繼內閣組織の大命を下し、ベレンゲル將軍は廿九日左の如く閣員の人選を終り、同時に任命された。

總理兼陸軍　ベレンゲル
內務　ゾルゾ
海軍　カルヴイア
大藏　アルケーレス
司法兼勞働　サングロ
學務　アルバ
工務　マツトス

尙タルヂユウ氏は重要問題解決後多分來る十日頃再び渡英すると。

海軍兵器廠落成

一昨年暮火災に會ひ、その後聖市コムパニヤ・メカニカ・イムポルタドーラの手にて改修中なりしリオ・イリヤ・ダス・コーブラに於ける伯國海軍兵器廠は此程漸く竣成、三日海軍長官大統領代理、陸軍長官その他高官多數列席の上盛大なる落成式が擧行された。

因に右工事費として海軍長官は會計檢査院に向け二万二千コントスを請求し、直ちに工事請負會社右コムパニヤ・メカニカへ支拂つたと。

電送寫眞の設備

ドイツ技師が國民政府と交涉

…八分間で大陸橫斷…

目下上海にあるドイツのテレフンケン會社技師ハインツ・ルツクス博士は國民政府交通部と交涉中であるが、その結果近くベルリンと上海間を世界最大距離の光波によるテレヴイジョンによつて連結する一方的のもので約二万五千弗の豫算で近々南京又は上海郊外に假設備の受信局を建設するはずで、六ケ月以內には近々八分間にて歐亞の大陸を橫斷して六千哩を距てゝ直接に寫眞や通信が得られるわけである。約三ケ月前に出來たベルリンとブエノスアイレス間のテレヴイジョンが世界最長の距離とされてゐるが、これは海上を越える比較的容易なもので、大陸橫斷では之が最長のものとなるわけだ。

日本に宣傳のブラジル珈琲

聖州珈琲調節局への入電に依れば、最近日伯協會の肝入りで東京、大阪の兩市にブラジル珈琲の宣傳部が設けられ廣く國內一般にブラジル珈琲を宣傳すると。

東京市に惡疫流行

三十日ロンドン發電報は報じて云ふ。東京市では昨今腸チフス、ヂフテリア、及び猩紅熱等の惡疫流行しつゝありと。

◇閃光ニュース◇

—海外の小話—

▼日本の柔道が目下ロンドンの婦人間に大流行をみてゐる。何しろロンドン市西區のグローヴナー町には『武道會』が設立せられ『道場』が建つてをり、日本人教師の指導の下に會員は各國人を網羅して約百五十名、增加する一方ださうだ。そして最近四名の英國人が柔道選手としてドイツに派遣され勝負を行つたさうだが、そのうち三名は婦人が占め、ケー、コーケル、クルーといふ三夫人で茶帶の一級資格者だといふから驚ろく。

▼上品なひげで映畫ファンにおなじみのアドルフ・マンジユウ君、目下盲腸炎でパリのアメリカン・メモリアル病院に入院中だが一時容態惡化、監督のアラン、ドワン夫妻に向ひ

『僕もヴアレンチノの樣に死んで了うんぢやないかしら』

とまで悲觀してゐたのが、手術で漸く持ち直したとか。

▼エヂプトでは今度『結婚式を擧げる前に男女双方共身體檢査を行ふべし』といふ法律が設けられたとのこと。

同國保健局からの發表によると首府カイロ市の遺傳病の增加は全くレコード破りで、この法律が設けられたのもその結果らしいが、無智の市民や邪敎徒等は身體檢査を拒むだとまで悲觀してゐたのが、手術で漸く持ち直したとか。

▼エヂプトでは今度『結婚式を擧げる前に男女双方共身體檢査を行ふべし』といふ法律が設けられたとのこと。

同國保健局からの發表によると首府カイロ市の遺傳病の增加は全くレコード破りで、この法律が設けられたのもその結果らしいが、無智の市民や邪敎徒等は身體檢査を拒むだ

▼近頃ロンドンのモボモガで新婚生活に入ると、早速古い戀文をよせ集めて綴や羽毛代りに座布團に詰める事が大流行り。つまり古いラヴレターを尻にして新しい戀を語らうよといつた趣向？

▼ドイツが百二十人乘りの大飛行機ドウ・エックス號を造つて各國の鼻をあかしたので『世界一』專賣のアメリカが承知せずこんど翼長二百五十二呎、總重量七十二噸半、收容乘客二百六名といふとても素晴らしい大型單葉機を四臺もつくる計畫を發表した。

▼ロンドンは霧の都ではない、花の都のパリの方が霧の深い點では世界第一だといふことが、

……◇……

七万本に對し採收果實全部をコロノの所得とする條件にて本年度契約者を募集す、他に間作地も充分に與ふ、詳細本社外務部

珈琲と土地
家具材木商 カーザ東京
Rua Sta. Ephigenia, 11-A
Caixa, 1005 S. Paulo

人員募集
右弊店經營の製材所に入用に付御望みの方は左記へ御照會あれ
製材、伐採、炭燒、雜役

通關手續取扱事務所
主任 小淵友市
Rua Senador Feijo, 473
Caixa, 657 SANTOS

尋人
沖縄縣中頭郡西原村字小波津
小波津蒲
右の者及び住所御存じの方は御手數ながら御一報煩し度御願申上候
パラナ州カンバラ市
カンバラ驛エストラーダフエロサンパウロデパラナ
吳屋盛吉

愚息次男眞澄儀去一月二十六日午後二時半不慮の災難にて死去仕り候同三十一日午後三時半レヂストロ共同墓地に埋葬仕候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候
追而葬儀の際は遠路態々御會葬被下其の上多大なる御香料を辱ふし有難く御禮申上候、尙一々拜趨御禮申可の處取込中其の意を得ず乍略儀紙上を以て御禮申上候
昭和五年二月一日
レヂストロ市街地
父 出利葉政次
母 ヒデヨ
長男 勳
長女 須磨子
次女 ミサエ
三女 クニ子
四女 スミ子
三男 和夫
親戚總代 淵上房太郎
友人總代 山三郎 栗田平一 渡邊常太郎 南島松太郎 今井腎藏 山田新之助
店員一同
Casa Palma
ARAÇATUBA - E. F. N. B.
正直薄利多賣
內外乾物、酒油類一切、反物、出來合服、クラーク、フオクス其他靴類ミシン金物類其他
本店は當市でも舊家で以前から日本人諸氏の御贔負を蒙つて居ります
工場 二一二スロイネビ市ロウパンサ
住宅 二一二スロイネビ市ロウパンサ

MARCENARIA DE NAOJIRO TAMAKI
業築建に並賣販造製具家
塲工具家置玉
耶次直置玉
工場 二一二スロイネビ市ロウパンサ
住宅 二一二スロイネビ市ロウパンサ

Ao Regulador Fox
Rua Quintino Bocayuba. 11
トケイ
千八三二年の開業以來當店は絕對保證と絕對責任をもつて各種時計の修繕を致して居ります
日本人諸君に特に安價に致します、日本人敎育會殿も數個御買上げ下さいました

CASA CRYSTAL
ALMEIDA BARROS & FILHO
Rua Olavo Bilac, 24 LINS
各種金物類、農具一式、ガラス、瀨戸物類、繪具
望おをのもい善てくすやへ店當は方のみ

Dr. Arthur de Santis
RUA XAVIER DE TOLEDO, 44
Telep. 4-5135 S. Paulo
醫學博士ブルノロポ敎授の前助手
產科婦人科專問
紫外光線並にデアテルミー
診察料 十五ミル
診察時間 毎日午後二時ヨリ五時迄

紙製レース飾り
純白・彩色物各種(一枚十メートル)
御用命は直接工場へ
Rua do Paraizo, N. 72
JOÃO GOMES & CIA.
Caixa, 1129 S. Paulo

取扱項目
◎財政經濟事情
◎珈琲經濟事情
◎金融事情調査
右應芳需懇切調査報導
俱野經濟報導部
Rua Oswaldo Cruz, 78
SANTOS

Casa Uehara
賣販貨雜及品料食
◇達用御者國歸◇
上原商店
六十ロブンテツセ・デ・テツセ・ゴルラ
四〇八一 話電 市ストンサ

Dr. T. WATANABE
Rua Tolentino de Filgueiras No. 139
Tel. 1757 - Santos
醫學士
渡邊勣
サントス市 電話一七五七

CLINICA DENTARIA
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel. 2-3029
齒醫科院
上村眞一郎
九 スダ1ゼルサ・デ・デレコ市聖
電話 二…三〇二九番
(中矢商店筋向ひ)

Y. KINJO
CIRURGIÃO DENTISTA
Rua Vergueiro, 123
TELPH. 7-3384 - S. PAULO
齒科醫 金城山戶
聖市ヴエルゲイロ一二三

MACHINA LINENSE
NODA & FUKUSHIMA - Caixa, 153 - Est. LINS
精米所開業
リンス驛前に於て二月一日より精米所開業誠實勉勵を旨として從業仕候間御引立下され度此段廣告仕候也
尙農產物保管の倉庫業をも兼營仕候間御利用下され度候
リンス驛前(ホテルエスタソン隣)
マキナ・リネンセ
農田源行
福島捨吉共營
初めマキナ・トリアングロと命名仕候處同名のマキナ有之候に付右の如く改名登記仕候間御承知被下度候

タカ點眼藥 トラホーム、ハヤリメ、タダレメ、ツカレメ等によし
タカ胃散 日本人の體質に合へる信用出來る唯一の胃腸の藥
タカ膏藥 メンチヨウ、ヨウ等すべて痛みあるデキモノの特効ス
ピシノール軟膏 ヒダシ藥 土マケ、タムシ、カユミあるデキモノ等皮膚病の特效藥
衞生ハミガキ粉 タバコをノム人は是非此藥用衞生ハミガキ粉を用ひよ

一家和樂の秘法
健康第一主義
いつも健康に御注意なさい
病氣の時には、すぐに
大河內のクスリ
で初めの中に充分の手當をなさいませ、手後れにならぬ樣御注意が肝要です
左の宛名をキリトリ手紙の表におハリ下さい
LABORATORIO CHIM. PHCO. "JAPONEZ"
RUA ASSEMBLÈA No. 31
SÃO PAULO

文藝欄

漫言苦舌

利庸

1

力だ腕だその外はなくもがな。頑固なる父母は一徹に筋肉勞働を强ひますが、

「働け働け、働らけば食へるのだ。なんの勉强がいるもんか、一俵三十圓の米を五十俵賣つたらいくらお金が入るのだ　それ以上に何がいる？　一家擧ぞつて渡伯して、日本になんの未練があるものか、ウネ〳〵ウネつた横文字で、それさへ判れば上等ぢやないか。』

確かにそれもいゝでせう。けれど、頑固なる父兄よ。

貴方等の時代はそれでよかつたのでせうけれど、私等第二世の第三世の父母となるべき私等には勞働第一主義では立つては行けないのです。

『何故？』だと仰しやるのですか、聞いて下さい。

2

早い話で、例へ話でゆきませう。家造りです。

どうやら今は、過去二十ケ年の犧牲的な、父母である貴方々の血と汗で地盤と材料はほぼ集りました。この上は家を立てゝゆけばいゝのです。

なんと簡單な事ではありますまいか？第二世の負ふ可き處は。だが、そうは簡單には參らないのです。

『定まつた地盤に、限りある材料で家を建てゝ住む。』

性急は、先づ一間をたてゝ繼棟に、まるで長屋の樣な家を建てるでせう。愚鈍者は、折角かためて下さつた地盤がゆるむ迄は石や木の配置に馬鹿氣た案を組むでせう。けれども、智ある者は幾枚かの紙の上に、あるだけの材料を使つて、しかも、便利な、衛生的な、出來るだけ安價な、美的な、家を建てるでせう。

頑固なる父母よ。

勞働をすゝめて下さる一面に、第二世である貴方々の子供等、私達に、出來得るだけの勉强をさしてやつて下さい。

せめて日本人として、恥かしくないまでに。

3

頑迷なる父母よ。

貴方々のお子供さん達はどうやら日本人ではなくなつてゐる樣に見受けられます。

學校では優等だとは聞ひてをりますが、惜しい哉！お子さんの美ぼうは跛で割引されてゐる樣です。衞語は伯人以上の能辯さです。又その所作も、伯人以上に伯國的です。だがなんと淋みしい影がその子供についてゐるではありませんか！

日本人であるが故に、子供は日本及び日本人を知らなければならぬのです。

學校教育。それ許りが教育ではない筈です。

伯國的教育は、學校で出來る以上、せめて家庭に於て、たとへ一日一事式にもせよ『日本及び日本人』を知らしめる樣。

頑迷なる父母にお願ひ致す次第です。

4

合せて頑固、頑迷なる父母に、實に簡單で、眞實に簡單にすぎたかもしれませんが、又、非常なる惡文で、いさゝか自分ながら責める所もありますが、なんといふても弱輩の筆です。どうか氣を惡くせずに、お子樣方を可愛がつて上げて下さい。

（一九三〇―一―二五）

『日伯歌壇』に寄す

虛象

ゆけどゆけど
かなしみつきず今日もゆく
悲しみの旅いつの日果てなむ
悲しきは我宿命よ
人知れず
冷たき土に顏あてゝ泣く

朝な朝な
尻のやぶれを氣にかけし
電車の中のいときし我よ
新しきセルの縞地の夏服に
うらやみて見し
一日もありき

ゆけばとてかなしみ果てず
二十七
今年も辿るかいとしき我よ
ふるさとの訛なつかし

船着場
みな父のごと思わるゝ日よ
白色の兄よりつよき弟の
夏の休みの
思出はかなし

ゆきちがふ日本人は
だれもだれも
話して見たしふるさとのこと

まづしくも日本武士の裔也と
ひそかにほこり
ひそかにさびし

まづしくも大空がある
新しい雲も流れる
妻よ空はいゝな

ボロンにでも――間借りすと
云ふか　妻よ――
ボロンは暗い空が見へない
手の甲のしわだらけなる
移住者と
語ればうれしき思出のあり
久々に泣きたくなりぬ
聲あげて
人のこゝろにふるるがうれし
人の世の甘し辛しをかみわけぬ
友のふるまい
さびしと思ふ

着ふるして
つぎはぎ多き洋服は
すつるにおしくなつかしきかな

―詩―

朝を送る

草川生

―此の一篇を故里の愛する者へ捧ぐ―

懷しい友よ
草光る今朝――
俺は清歐風の輕馬車にゆられながら、草原の一筋道を犬の樣に彷徨ふて行く。
南方の早春はつゝましやかな春衣を飾り娘の樣に花を愛す。
針金のやうに屈折した雜木に廣い葉が紙細工ほどのまばらさに點綴され、無難作な聲色の小鳥は、朝の空氣をふるわしてゐる。
丘を巡り森を切つて、刻まれたこの野路は、頰の樣に輝くてゐる。
――『寂びしすぎるぢやないか』――と。
だが――愛す友よ
俺は青空に、手を振りたい程の歡喜だ。
馬車の中さへ、春草のにほひが感じられる程だ。
オ、ーランバリー。オ、ーランバリー。
溫順な彼奴は、一鞭で朝をけつでおゝこと〳〵ゆらぐ。
流浪の美しい曲だ――

懷しい友よ
この男の風雅な日本の愛慕から遠のしと云ひ給ふな
森を越ゆる今朝
この苦しい腦裡の空間に
土色の魂の底に霧のやうな淡い懊惱の棚引くのを――。
たへ切れなくなつた俺はベルレーヌの美山一節を鸚むのやうに口ずさむ。
追憶よ、思ひ出よ、
今にして何をか翼よ
衰へ蒼空につぐみの飛ぶ秋
北風はそよぎて
きばみたる林には
日の光ものうげに
ふり注ぐ時なり。

懷しい友よ
この道は俺一人の道だ
朝の馬車はうす霧の林を越へ
若草の丘を下つてゐる。
午前八時の肥つた太陽を浴びて、きいろい花がぽかあッと咲き初めた。
俺と花と馬は早春の中で、抱擁にむせび、ばら色の接吻に輝くのだ。
俺は彼奴に鞭うつ、溫順なランバリーは、朝を横ぎつてゐ！こと〳〵ゆらぐ
落葉のやうな流浪の歌だ。

都々逸

戀ごころ

志津枝

さて今夜　あすこで逢うのは
少うしまずい　と云つて
逢はなきゃ氣がすまぬ。

無理の一つも云はれて見たい
やさしくされてりや
泣けるだけ。

あす來るか　あさつて來るのか
あなたの云つた
時節といふ日が待ちどしい。

互ひの身のため
逢はぬときめた
ゆうべの今夜で逢つてゐる。

投稿家諸氏へ

紙上匿名は差支えなきも住所氏名は明記のこと。

▼論文、創作、隨筆
別に規定は設けません

▼和歌　題隨意　一人二十首以內　締切毎月十日
選者　岩波　掬二

▼俳句　二月課題
「藤椅子」「螢」
一人五句　十五日締切
選者　木村　圭石

映畫國のアナトール

チャツブリン情話集

―彼を繞る七人の女―

影の男

世界映畫界の至寶、大藝術家チャーレス・チャツブリン――例へ其國の總理大臣の名は知らぬ者があつても、彼を知らぬ者のない全世界の寵兒――チョビ髯とダブダブなズボンと古びた山高帽子と大きなボロ靴と竹のステッキとを持つた、奇妙な鴨足の喜劇俳優――アメリカ各州を、旅から旅へと當途もない流浪の生活を送つてゐた英國の一喜劇役者であつた彼が、始めてキーストンの映畫に其の珍妙な扮裝で現はれて以來、即ち一九一三年以來の彼の映畫生活は、不滅の榮譽と巨万の財產とを與へたが、其間にあつて、彼の辿つてきた人生行路の愛慾流轉こそは、一篇の好讀物でなくて何であらう。――再度世の視聽を集めたあの有名な離婚事件――彼を繞つて幾多明眸の女性に依つて、宛然フイルムのそれの如くに織りなされたる焰るが如き一大情史――沈鬱した黑い現代人の苦しみの上に、涙で塗られたおどけの花を咲かせる、彼の名作にもいや增して深酷の極みを盡した戀愛の奇談に、妖しく彩られたる過去十八年に亘る映畫生活の記錄こそ、人間チャツブリンを識る唯一のものでなければならない。

だが、彼を愛し、彼の藝術を尊敬する心切なる私は、何處迄も邪心なく、彼に對する滿腔の同情を以て、事實を僞らず、有りのまゝに記して行たいと思ふ物語は一九一五年、サンフランシスコの或るホテルの舞踏室から開かれる。

◆第一のブロンド（エドナ・パーブイアンス）

踊り疲れて、やゝ上氣した頰をポッと紅に染めて、エドナは片隅のソファの上に、深々と身を埋づめてゐた。

華やかな圓舞曲――女達の夜會服の白絹の襞が、エナメル飾りの靴や、黑いズボンにまつわつて、何かしら生ある物の樣に舞ひ狂つてゐた。

ネヴァダ州から出て來たばかりの若いエドナは、大都會の頽律に醉つて居た。

『まあ、エドナ、こんな處に居たの、妾、ずい分探したことよ――』一人の、エドナと同い年位の娘が、息をきらして飛んできた。

『あのね、妾、いゝ人を紹介してあげるわ』

さう云つて娘は、つと後を振り返つた。と其處に一人の若い紳士が、微笑を浮べて立つてゐた。

『この方、チャーリー・チャツブリンさん、……ね、ご存じでせう』

『こちら、ネヴァダからいらしつたエドナ・バーヴイアンさん。妾の一番好きなお友達よ』

二人を紹介しておいて、娘は『いゝ踊相手よ』と朗らかな笑ひを殘して、踵で、くるりと後を向くと、また新らしい對手を見つけて踊りの輪の中に飛びこんで行つてしまつた。

『まあ――』

エドナは、思はず耻かし氣に顏を赫めた。チャツブリンといへば、あのドタ靴と、太いズボンを穿いた小男なのに――。

そして、そつと、彼女はさも不思議なものでも見るように、

『いゝ踊相手よ』

と、其の若く美しい紳士を見つめるのだつた。

チャーリーも亦、思ひかけず若い娘の前に取り殘されて妙にてれてゐた。

二人は暫く無言のまゝ、氣まづさうに顏を見合せてゐたが、やがてチャーリーは靜かにエドナの側へ腰を下して話しかけた。

『エドナさん……と申しましたね。先程一寸うかがつたのですが、遠くからいらしつたのですつてね――』

彼の言葉の調子は、都馴れぬ乙女の胸に、軟かく響いた。

『えゝ、ネヴァダから――父はラヴロックの鑛山技師ですの……』

彼女は眼を伏せて淑やかに答へた。

『ほう、で、失禮ですが、今貴女は何をして居られます』

『速記術を習つて居りますのゴールデン・ゲートで……』

『それで、職業婦人として自活していらつしやるつもりですか？』

『えゝ……』

エドナは低く答へた。今更に、故郷の事を思ひ出すと堪らなく淋しかつた。

何時か二人は打ち解けて樣々な話をするやうになつてゐた。

それから間もなく賑やかな踊りのグループの中に、確固と腕を組み合つた幸福さうな二人の姿を見る事が出來た。

其宵以來、チャーリーにはエドナの美しいブロンドが忘れられないものとなつたのだつた。

エドナがチャツブリンの相手役として、職業婦人になる事を止めて映畫女優としての第一歩を踏み出したのは、斯うした機會からであつた。

（つゞく）

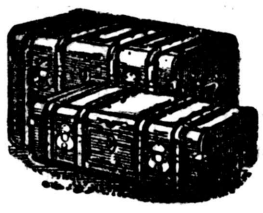
Fernando Hakradt Cia.
Rua de S. Bento, 23, 2 and. sala 7
CAIXA, 948 - S. PAULO

肥料

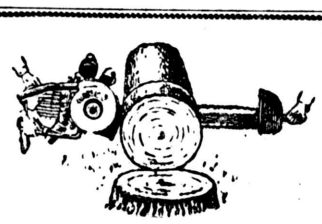
作物に肥料は一番大切です、弊店の肥料は獨逸式で芋、綿、野菜、珈琲、ミリヨ等夫ゝ別の肥料を差上げます、品物は極上有効、日本人諸君には特に御便利を計ります

フエルナンドハックラツト商會
聖市アルサベンントニ十三番
三階七號室一郵九四八番

F. Ambrosio & Cia.
Rua José Bonifacio, 39
Phone 2-1298 — Caixa, 752
SÃO PAULO



カバン其他旅行用具各種
鞄革、なめし皮、屋敷、



BING, NOCE & CIA. LTDA.
Rua Xavier de Toledo, 62
Caixa Postal, 2838
S. PALUO

山林伐採界の革命兒
リンコ自動鋸
一日廿三人分の勞力經濟。精巧堅牢。重量僅か三十八キロ。使用法簡便僅か二人で如何なる大木も見る間に切れる。ブラジル拓植組合へ納入好評を給はる。詳細は上記へ

Armour
Armour of Brasil Corporation
FRIGORIFICO - S. PAULO
Alameda Clevelando, 34-A Villa Anastacio (Lapa)
CAIXA POSTAL, "t" - S. PAULO

再度の値下斷行

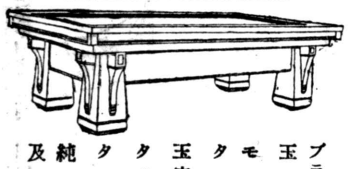
多年日本人農業家諸君から多大の御愛顧と好評を賜つて居る當アルモール會社肥料部は日本人諸氏の御便宜を計る爲め
ピネーロス、アルコ、ベルデ街三百四十八番
に販賣所を設け多量にストックを置き販賣部員を出張させて御用命を伺ふ事に致しました
尙十二月中に約一割方の値下げを致しましたが今般更に再度の値下げを斷行致しました

アルモール印肥料 (Adubo Armour)
窒素含有量 六%
千キロに付 舊定價 四百餅 新々 三百四十ミル　新 三百七十餅

屠殺殘物肥料 (Adubo Frigorifico)
窒素含有量 四・五〇%　骨燐含有量 一二八―三八%
千キロに付 舊定價 三百八十餅 新々 三百三十ミル　新 三百六十餅

乾血肥料 (Sangue Secco)
窒素含有量 一四%
千キロに付 舊定價 六百五十餅 新々 五百ミル

骨粉 (Farinha de Osso)
千キロに付 三百十餅 新々 二百九十ミル



Cia. Brunswick do Brazil.
Rua ypiranga, 14-C, Tel. 4-6237
End. Teleg. "BRUNSWICK" - S. PAULO

ブランスウイク印
玉突臺
モナーク印
タベーラ
玉突臺用バンノ
タッコ用ソーラ
タッコ
純象牙製玉
及模擬品

玉突臺及附屬品一切の御用は
ブランスウイク商會
いさゝか下用利御法便の賣販賦月

Adubos Fortuna
RUA LIBERO BADARÓ NO. 455
S. Paulo

化學肥料販賣
硫酸アンモニヤ、智利硝石過燐酸石灰、硫酸加里、石灰窒素、骨粉、硫黃、殺菌、劑調合肥料、（バタ、野菜其他）地質試驗、フオルミシーダ、ベンゾクレオル類、フオルツーナ肥料製造

委托販賣業
若月操
倉庫　ピネイロ、メルカード際
自宅　ピネイロ、ペドローソ・デ・モラエス　六五

CASA CATTINI
R. General Carneiro. 11
TEL. 2-4274　S. PAULO

洋服！
カジミーラ及びブリンの洋服仕立並に殿方、御婦人、御子供さん方の出來合服外套、雨合羽、御婦人方のコート類は特別仕立
子供服各種多數其他奥服反物類の
御用命は特別廉價な
當店へ

▼母國近信▲

高松宮と英國皇帝
六月十一日御對面
晴れの御出發は四月廿一日

横濱出帆鹿島丸で

高松宮殿下と德川喜久子姫との御婚儀も一月十七日に御納采を濟まされ、御婚儀日取も二月十日頃と御豫定あらせられたが、このお歡びに引續いて高松宮殿下には英國皇帝陛下への御答禮の重任を帶びさせられ、妃殿下御同伴御渡英、次いで各國元首を御訪問遊ばされることゝなつたが、その晴れの御出發は四月二十一日横濱出帆の鹿島丸で、一路マルセーユに向はせられ、同港着は六月一日、英京ロンドン着は六月十日、英皇帝陛下との御對面は翌十一日と御決定になつた。

祝ひの集ひに
歌人の感激
晶子女史を圍んで文壇にまれな盛宴

五十を迎へた歌人與謝野晶子女史の賀宴は舊臘二十二日丸之内東京會館で催されたが、泉州堺の一文學少女時代より明治、大正、昭和を通じて日本文壇に殘した女史の足跡は實に華やかで大きかつただけに同夜集つた顔ぶれもあらゆる方面の人々をまぜてざつと二百五十名といふ盛大さ。

うらさびし
雨だれほどのひまおきて
櫻ちるなり
今日をはじめに。
ばらの花
朝々つめど咲く事も
夏はうれしや
水の鳴れるも。

晶子女史が今日を歌つたこの二首の獨唱もあり、十數氏のお祝ひの言葉や祝電の披露があり、晶子女史の謙遜な謝辭で前後五時間、主客心ゆくまでくつろいだ集りであつた由。

本年上期の貿易
入超二億千萬圓程度？
日銀と三井の豫想偶然一致

一月十一日を期して金の輸出禁止を解かれたが、これと共に上半期の貿易がどの程度に落ちつくかは各方面の注目する所であるが、三井物産の上半期貿易豫想は入超額二億一千万圓に落ちつく模樣であつて、昨年上半期の入超額に比して約七千万圓の入超減を豫想してゐる。この數字は日本銀行調査の貿易豫想と偶然にも一致したところで、大正十年以來のよい現象であらう。即ち本年上半期に輸入額が增加しないといふのは爲替相場の恢復と英米物價の低落から輸入數量は增加するが金額は減少するのであつて、且つ國内の不景氣が深刻で購買力がひどく減退してゐるので、自然輸入が減少する事になる一方輸出貿易は生産品の捌け口を海外に求めるものが多くなる、例へば紡績會社の本年上期の增産は昨年同期より一割五分を豫想せられてゐるが一割操短してもまだ五分多いわけでこれを輸出に振向けるためには加工費等の關係で綿布の輸出額は一割位の增加にならうこれらの犧牲的輸出は相當多くセメント等にも行はれるので假令一時的にしても本年上半期貿易尻はよくならふといふのである。

日本產の洋紙
支那市場で飛躍
一昨年來需要急激に增加
今や完全に第一位を占む

支那各地に使用される洋紙は、元來ノルウェーが第一位を占めてゐたのであるが、一昨年來日本品が飛躍的に增加しこれを凌駕した。日本品の品質向上によつてノルウェー品に劣らず、且つ運輸の關係上有利なによるものである。昨年度の洋紙も、左の通り日本品が第一位を占めてゐる。（單位ピクル）

日本	四〇六・一四六
ノルウエー	三二一・五五六
アメリカ	二五〇・二二五
スエーデン	一八七・〇八七
ドイツ	一七二・八三五
イギリス	四六・九一四
合計	一三八四・七六三

潛水艦に
オゾン發生機
注目される その成績

潛水艦が訓練の都合に依り一週間以上も海上に浮かび上らず、海底深く潛行する場合、狹い穴倉の樣な艦内の空氣は、空氣清淨機や酸素補給機があつても呼吸は刻一刻苦しくなり、はじめは輕い眼暈や頭痛の症狀から、最後は窒息死にいたる事も往々あるので、今や潛水艦内の空氣清淨については各國とも兵器の發明以上に喧しく論議され、藥品による空氣中の炭酸瓦斯分解作用その他扇風機や通風筒による換氣法の研究に腐心してゐるが、最近潛水學校ではこれが新しい方法を思ひつき、各艦のモートルにオゾン發生機をとりつけ、エンヂンの回轉につれ多量のオゾンを發生せしむる事になつたが、このオゾン發生機の成績如何は將來日本潛水艦乘組員の生命を保證するものとして非常に注目されてゐる。

△△△△△△△
三百圓から二圓まで
色樣々な女給生活
警保局の照魔鏡にうつされた
華かに、暗い内幕

全國五万五千人に達するバーやカフェーの女給さん達の華やかに又は苦しい内幕一切が、内務省警保局の照魔鏡にうつりだされた。

これはカフェーの風紀頽廢問題、大阪商工會議所の警告的決議等をきつかけにお目付役の警保局が去る十月以來全國一道三府四十三縣に亘つて調査したその結果で、

先づカフェーは何軒あるかといふと東京府の六九一一軒を筆頭に大阪府の二八二九、兵庫縣の一八三七、愛知縣の一三八一等全國總數二万一千八百六軒ありに增加してゐて、そこに働く女給の數は總勢五万五千三百十六人、その内譯は何といつても東京府が一番多くて一万六千九百十六人

次は大阪府の一万九百二十五人、ぐつと下つて兵庫四千七百餘人、愛知二千四百餘人、京都二千三百餘人、最後の沖縄はただの九人

平均すると一軒につき女給三人となるが、大阪では最高百人居る所があり、東京の最高は五十人となつてゐる。

さてジヤズとカクテルとこびの中に女給さんのかち得るチップはどの位かといふに、最高月收は東京の三百圓で、これに匹敵するのは愛知（名古屋）の三百圓、大阪兵庫は二百圓、京都は百五十圓、北海道、神奈川、岡山、德島、和歌山は何れも百圓となつてゐる。最低收入に至つては岩手が三十五圓で全國一、續いて岐阜三十圓、富山二十六圓等地方の女給が成績優秀で、東京十圓、大阪八圓、神奈川五圓で、全國を平均すると三十圓見當になるらしい。

とにかく月收最高三百圓から最低二圓まで日本の女給さんも色樣々だが、漸く花柳界の淋びれつつある現在、カフェー時代現出の勢や素晴らしいものであるが、

ダグ歡迎エピソード
（一月十六日號參照）

◇……ダグ夫妻の大阪入りがきまつた時、道頓堀の松竹座ではみんな寄つて歡迎方法について頭をひねつた。最も問題となつたのは凄ましいファンの黒山の中をどうして切り拔けて松竹座正門から一々と初乘込をさせようかといふ事だつた。みなが思ひこんでゐる時、ひとりの男が叫んだ。『名案がある！』

◇……この名案とはこうなんだ。ダグが新聞社訪問を濟ましたら直ちに自動車を驅つて本町橋から船津橋あたりの袂に横づけし、こゝからモーターボートを仕立てゝ道頓堀川に入り、松竹座の眞向ひの料亭「紫藤」の裏口からコツソリ引き入れる。そして「紫藤」の表二階と松竹座バルコンとの間に俄ごしらへのブリッヂを架し、ダグ夫妻を悠々とこの橋上を通らせて、下なるファンからヤンヤの歡呼を浴びさせやうといふうまい話。

◇……だがさう注文通り行くかどうかといふので結局オヂャンになつたが、餘りの大騷ぎで松竹座に寄れなかつた當時の事を後で考へると、この案が實は最も實際的な名案だつたと、一同しきりに後悔の臍を噛んだ。

◇……淺間丸デッキの上、日本バッシング・ショウのジョーヂ桑とダグの對話

ダ『桑、大へん痩せたね』
桑『痩せました。胃酸過多ですね。これご覽なさい、アメリカで拵へたチョッキが、家鴨が一羽はいるほどの隙間が出來ました』
ダ『さういへば君は映畫で家鴨泥棒をやつた事がよくあるね』
◇……一記者『どうしてこんなにセカセカ歸國を急ぐのです』
ダ『だつてアメリカの株式界は漸落の徵候を見せかけたもの』
◇……ダグ夫妻は日本のケチな實業家が十人かゝつても及ばぬやうな價格の株を持つてゐるのですよ。

刺靑が語る
紅毛海員氣質
浮世を茶化した
流浪のコスモポリタン

世界中を俺の住家と決め込んで明日は明日の風が吹く主義の樂天水夫――この間神戸水上署外人室へひよつこり顏を出したのが英國人のトーマス・ジョンズといふとても徹底した男である『一週間程前までグラー・ライインのプレシデント・ゼファソン號に乘込んでゐましたが上陸して一杯飲んでゐる間に船が出帆して了ひました。そこで當時同港に碇泊してゐたドイツ船ゼーフ・ホルム號に乘込みましたが、ドイツ船の船長はケチン坊で待遇が惡く毛布さへくれないので一昨日神戸着と同時にあんな船は見限つてやりました。それから一泊五十錢のホテルに泊つてゐましたが、今朝チョッキのポケットをみると廿錢しかないのでやむなく御厄介になりました』

とひと事の樣に話してゐるが、『それではお前はどうする氣か』

『別にあてはありません、どうかして下さい。しかしこちらで都合が惡ければ汽車で横濱迄送つて下さい。またいゝ船でもみつかるかもしれません』

と萬事こんな調子である。ところがこの男、腰から上は殆んど文身で埋めてをり、その文身がまたとても變つてゐる。

板子一枚の水夫の生活、命も荒浪も茶化して生きる氣持がよく現はれてゐる。右の手には男女が堅く握手して居ればよい樣に、左の腕には救命器の中に船を描いて　ハンズ、アクロス、ザ、シイ　（海を渡る道具）なんてな酒落た說明を加へてゐる。肩のところには眞紅の唇とその上に母國にゐる愛人M・Lの頭文字が力强くほつてある。胸には『ライフ』（いのち）と見出しをつけて、美しい女の顏を眞中に、賽ころ、酒、カード、樂器、煙草馬などが一杯にちらばつて本人はこれが人生の凡てではありませんか、とのどかなことを言つてゐる。目下同室で保護をくわへて、世話を燒いてゐる由。

日本一の燈臺
日向都井岬に

宮崎縣南那珂郡都井岬に工費八万七千圓を投じ建築中であつた國立燈臺はこの程竣工し落成式を擧行した。光力六十万燭光で三十八海里の彼方まで照明し日本第一を誇るものといはれてゐる。なほ建設場所は明治三十七八年日露戰役の際戰艦見張所が設けられてあつた由緒ある所である。

世想百態

▼新案ガッ・・・宮城縣・川捕鯨會社では、鯨の筋を利用してラケットのガットに利用考究中軟硬兩球に共用し得る加工に成功

▼腹・中・に・短・刀　名古屋醫大で解剖された二十五の男、内臓から刃渡り四寸五分の短刀が出た。喧かして刺されたもの。

▼タコ・船・捕・獲　敦賀灣で貝船に帆をあげて海面を走る珍魚を發見捕獲。タコ船と稱し貝の中に棲息するタコの一種。

▼目・下・思・案・中　國家の爲となら後進に道を開け、糊口の爲となら吾々が途をつける。お父さん知事などやめて下さい、と柴田大阪府知事の三人の息子が進言――此の知事にして此の子あり此の子にして此の父の知事さんは思案中

MISSÃO JAPONEZA DO BRASIL
聖州義塾
寄宿舍、夜學校
葡語通信教授
主任 小林美登利
サンパウロ教會
日曜學校（午後四時）
大人集會（午後八時）
サンパウロ市ガルボンブエノ八十五
Caixa, 2-z - S. Paulo

翻譯と法律事務
辯護士 カルロス・デ・モラ
同 アンデラーデ
聖市ヂレイタ街七番三階三一號室 官誓公證翻譯人 杉山英雄
公證翻譯、產業組合各種會社團の設立登記定款の編成、歸化申請專賣特許等の手續、一般法律事務に就ての通辯、伯國諸法規並に經濟事情調査等よの御相談に應じます

法律事務所
聖市と地方を問はず一般法律事務は信用ある當事務所へ御出下さい。多年の經驗と手腕を有する
Dr. Aristides Lemos
Dr. Silveira Junior
Dr. Jair Pinto de Moura
が親切に慇懃に御相談に應じます。
內國何れのコンマルカへも出張致します。
Praça da Sé 43 1o. Sob.
Sala 15 e 17 Tel. - 2-2106
Caixa, 3125 S.Paulo

鶴 上等醬油
並に上等味噌
◎多少に拘はらず御用命下さい
アゼベード・ジュニオール一六
大野鶴龜釀造所

COLLEGIO CATHOLICO JAPONEZ
SÃO FRANCISCO XAVIER
Rua da Liberdade, 148 - S. Paulo
人法團社
聖フランシスコ學園
育敎的想理の女子人邦
學通舍宿寄關機
九四一街デ｜ダルベリ市聖
主任 青木新刀

コンデ四九 とうふ もりした

將軍乃木（四十五版）櫻井忠溫著 八ミルレース
怪談全集（現代篇、歷史篇）田中貫太郎著 各十ミルレース
遠藤商店

Pharmacia Tabatinguera
Rua Tabatinguera, 2
Phone. 2-3313
內外藥品一切
調劑正確、迅速安價、凡ての御用命に應ず
タバチンゲイラ藥店
調劑主任藥劑士 宜保寬良

時計
エレクシヨン販賣並に時計修繕
聖市コンセレイロフルタード六
佐古田亀藏

御洋服の洗濯は凡て旭へ御用命下さい
◎最も丁寧廉價迅速
旭洋服洗濯所
コンデ・ビニヤール二二
電話 二一一七八二

ペンソン プログレッソ
宮平市助
リンス、ルイスガマ街五一

旅館と運送業
北バラナ、カルバラ町
白岩甚造
岡野爲松
Caixa, 158 - Cambará
L. S. Paulo - Paraná

雜貨販賣 農產物仲買 運送業
武田商店
武田悟
北西線リンス驛
郵函一九二

安い店は日の出
は安い店
內外雜貨物及農產穀物仲買
ラルゴ・ド・メルカード
阿久根國雄

子菓
防迫菓子店
聖市コンセレイ。フルタード五番

HOTEL CARLTON
Rua Libero Badaró 26-1.
ホテルカールトン
は何故澤山の日本人方から御贔負に預つて居るのでせうか
市中目抜の場所で、日本領事館は左隣り四軒目、使用人達の親切丁寧、かゆい所に手の屆く樣な客扱ひ、室は市內と思はれぬ閑靜で、しかも清潔、お美味しいお食事、そして大勉强のお値段
◎御出聖の際は是非ホテル・カールトンへ

Dr. Ivan M. Vasconcellos
MEDICO E OPERADOR
內科、產科、小兒科、外科、婦人科
サンパウロ醫科大學敎授
聖市マテルニダーデ（產科病院）主任醫
聖市バロネーザ・デ・リメーラ（病院）
ドットール、イバン
エメ、バスコンセーロス
診察所（リベロ・バダロ二十三番サーラ十九、廿番（帝國總領事館向側）
診察時間 自午後四時 至六時
住宅（ブリガデイラ・トピアス七十番
電話 四一〇五二九
何時にても遠近に係らず往診に應ず尙醫師山田隆次氏と自五時至六時立合診察の便を有す

O Japão em S. Paulo
Rua São Bento. 60
CAIXA, 344 - SÃO PAULO
日本品雜貨 玩具
陶器類 直輸入商
鈴木商會
【舊藤崎商會】
聖市ルアー、サンベント六〇
郵函 三四四

大阪商船株式會社
早くて確實な優秀の大型客船
【命令定期毎月一回】
◎日本へ マニラ丸 三月十日 サントス發 三月十二日 リオ發
◎有名なパナマ運河北米諸港を御見物の好機
◎日本より マニラ丸 二月六日 サントス着
ANTUNES DOS SANTOS & CIA.
S. Paulo- R. Barão de Itapetininga, 39-41 A
Santos - Rua do Commercio, 84
日本より家族御呼寄せの方は船賃を當地で拂込願へば日本ーサントス乘船切符（指圖書）を發行致します。○細詳は左記へ御照會を願ひます
サントス駐在員 酒寄守

リオ港に於ける

昨年度密柑輸出量

珈琲不況の折柄

將來を期待さる

聯邦農務局の發表する所に依れば、昨年中リオ港を經て輸出された密柑は六十四万八千百五十三箱にして、その内三十七万七千三百八十八箱はブエノス向け送くり出されてゐて、アルゼンチンは依然としてブラジル密柑の消費國として第一位に居り次ぎが英國の廿三萬六千二百七十六箱、第三はコペンハーゲンの順であると。

尚昨年度を通じて十一月の輸出量最も多く、十五万七千八百四十箱を出してゐる。

因に最近四ケ年間のリオ港密柑の輸出量を年別にしてみると、

一九二六年	一四九、七五六箱
一九二七年	三一七、六三九
一九二八年	四三二、七三一
一九二九年	六四八、一五八

で、即ち昨年度の輸出量を一九二六年度のそれに比較してみると、實に三十三割六分の増加率を示してゐる。加之、最近試驗的に輸出されつゝあつた歐洲各市場でも非常に好評を博しつゝあるので、今年度の輸出量は又著しく増加されるものと見られて居り、珈琲不況の折柄一般農界の注意を惹いてゐる。

バラキバ州の棉花

昨年度の成績良好

天候及び地質等の關係から、他作物の栽培には殆ど不適當とされてゐるセアラ、セルジッペ、ピアウキ、及びバラキバ等の北部諸州では早くから棉花の栽培が、幼稚ながら廣く行はれてゐるがその内でもバラキバ州の如きは、種子の選定に、品質の改良に、格付けに近年相當見る可き成績を上げて來てゐる。

殊に昨年は近來にない良成績を上げて、十一月中にバラキバ市棉花格付所に於て輸出向きとして格付されたもの一八八二二梱に及び同格付所開設以來のレコードを作つたが、十二月は一層多く、二三、六〇七梱を出してゐる。然して昨年度分通計を一昨年度分のそれに比較して見ると四万四千七百二十八梱の増加である。然もこれは單に右バ市格付所のみの數字であつて、まだこの他にカムピナ・グランデ、及びポスト・デ・カジャゼイラスがあり、之等を皆合計すると相當大きな數字を示すであらう。

南大河州の米輸出高

ポルト・アレグレ市から、去月十七日――二十二日間の一週間に輸出された米は合計一〇一〇一俵で、これを輸出先き別にしてみると左記の通りである。

尚一月中に輸出された米の總計は五三八二三俵にて、一日平均二一五二俵づつとなつてゐる

輸出先

リオ・デ・ジャネイロ	八六九六
サントス	二〇〇〇
ビクトリア	一三五
アントニナ	二三〇
バイア	四〇〇
レシツフェ	五五五
バラキバ	二五
イリエウス	三〇〇
ニテロキ	二〇〇〇
合計	一〇一〇一俵

カンナの改良

カンナP.O.J.2878に就いて

ピラシカバ農事試驗所の報告

これ迄聖州農務局では州内カンナ栽培業者、並に製糖業者の爲めに、カンナの種類改良、栽培法の改善等に關して屢々教示する所があつたが、卅一日ピラシカバ農事試驗所内カンナ試作部が先般來試驗中だつた「カンナ、P、O、J、2878」の試驗結果に就いて次のやうな報告を發表して一般關係業者の注意を惹いてゐる。

西ジャワ試驗所に於ては、已に三十年以來糖類に關する種々な研究を行つて各國製糖業者に貢獻してゐるが、就中カンナの品質改良に就いては在來種にて俗に「カンナ・ノーブレ」（糖分は充分にあるも病毒に犯され易きもの）と呼ばれるものと、アジヤの内地で發見された野生種を合して一種の新しい種類を作り出す事に成功した。

今その研究の過程を見ると、カンナ・ブレッタ一九〇〇年迄P.O.J―100、一九一七年迄B―247、E・K―28、D・I―52、一九一七年迄P.O.J2878　現在

右の如くで、長年月の間に一歩は一歩とその研究を續けて來てゐるのである。然して此の、P・O・J・―2878種の特長とする所は、生産量の多量な事とサッカリン量の多い事、及び病毒に對する抵抗力の強い事等で餘りに生産量の多い爲めに英人間ではこれを「不思議なカンナ」とさへ呼んでゐる程である。

尚このP・O・J―2878種が如何に優良な種類であるかを示す爲めに左にインド及びジャワの農務局が公表した表を揚げてみると、

當所（ピラシカバ試驗所）で	年代	P・O・2878ノ百分率	他ノ百分率	種類	ヘクタール當り生産量
	1915	0.00	100.00		8.720Kgs
	1920	0.00	100.00		9.880
	1925	0.00	100.00		13.094
	1928	56.50	33.50		14.952
	1929	93.00	7.00		15.230

も先般來右改良種を少量づつ輸入して、果して當國の氣候風土に適するや否や試驗中であつたが、成績頗る良好と見たので、最近これが多量の輸入を行つて一般農業者に配布する事にしてゐる。』

聖州煙草の栽培

珈琲萬能の聖州では「珈琲即ち黄金なり」で珈琲以外には殆ど何等見る可き農産物なく、極々最近迄は全州を擧げて珈琲單農の觀があつたが、昨年あたりから州農務局の宣傳、奬勵もあり、加ふるに昨年來の珈琲のパニックで農家の視野が余程多方面に向けられるやうになり種々な試作が行はれるやうになつた小麥、果樹、煙草などがその主なるものである。

煙草は古くから聖州でも土着のカボクロ、ミナス州邊からの移住者等の間に多少栽培されてはゐたが、それは全部多くの勞力と時間を要し、且つ一般市場には極々不向きなコルダ煙草のみであつた。それ故に州内に數ある煙草會社は葉卷、紙卷煙草を作る爲めに年々數萬コントスの葉煙草を南大河州、サンタカタリナ等から輸入しつつある有樣である。

政府當局もこゝに見る所があり宣傳に勉めて居たが、昨年來あちこちに試驗的に作られた葉煙草の成績頗る良好にて、先頃技師をバイア州に派遣して栽培法の研究を爲さしめ、精撰された種子をも取り寄せて一般希望者に配布してゐる。

ブエノス・アイレス丸縱覽

この船は八月に來る新造船リオ・デ・ジャネイロ丸と同型です。

若いオフイサーに

案内されて先づ設計技師が特に苦心したと云ふ一等室を見る。明快な感じのする室がある。此處の一人部屋六室は他船には見られぬもの。續く一等食堂は古式日本間と洋風の粹を巧みに採入れたモダーン・ジャポンの新樣式を見せて居る。船客案内所は德川時代の武家造りとか、が中に居た人はサムライらしからぬ優男だつた。談話室は雅趣の一語で表すべく雪月花を象る壁畫の優美、凡てが快い階調を彈でる。喫煙室は淵味を主調にした日本造り、床の間を切つて鎧一領を飾り、違ひ棚には太刀を掛けて古武士の風格を偲ばせんと試みてる。ベランダ・カフエには箱庭式の噴水等あつて凉味溢るゝものがある。

三等室は上甲板と中甲板に在り熱帶航行の船として特に通風に意を注いで居るのは善い。そして又清潔なのが嬉しい。特別三等室は殊によく出來て居る。

『此處は婦人化粧室であります』

獨り者らしいオフイサーが眞四角に云ふ、『此處は便所であります』全部洋式の清潔なものだ。船橋に昇ると案内の士官君特意な場所と見えて難解な術語を交ぜて詳しく說明して呉れるが此の自働捕舵機は今日迄日本船に使用された事のない水壓利用のアンシッ式で、彼の羅針盤も在來の磁石式でなく電氣により二箇の輪を急回轉する時はその軸は一定すると云ふ原理にもとずくものと云ふ程度にしか解らなかつた。

さて此の善美、完備の船を航して神戸―サントス間を僅か四十三日と云ふ驚異的短縮をやつてのけた船長は、まにら丸サントス丸以來南米にはお染馴深い神足德三郎氏である。氏は徹頭徹尾眞摯と誠意と熱の人、サントスに寄港する毎に暇さへあれば奥地へ旅行して自分の連れて來た人々を見舞ふと云ふ特志家である。又先年關東大震災の折ロンドン丸船長として横濱岸壁に在り他船が危險を慮り錨を上げて出港し中には救助を求めてタラップにすがり付く避難者をピストルを亂射して追拂つた外國船さへあつた中に氏は『これを見殺しに出來るか』と僚船バリー丸と共に危險を冒して極力救助に務めたその功により去る九月横濱市で擧行された關東震災記念日には長くも　天皇陛下に拜謁の光榮を賜つた人である。

故章有勝な處女航海に何等の事なく、あまつさへ日本南米間の新記錄を作り非常な好成績を擧げ得たのも故無きに非ず、實に氏の至誠天に通じたともふべきであらふ。

總噸數　九・六二六噸
排水量　一四・八九〇噸
積載量　一一・〇〇〇噸
長　四六一尺
艙　六二尺
深　四〇尺

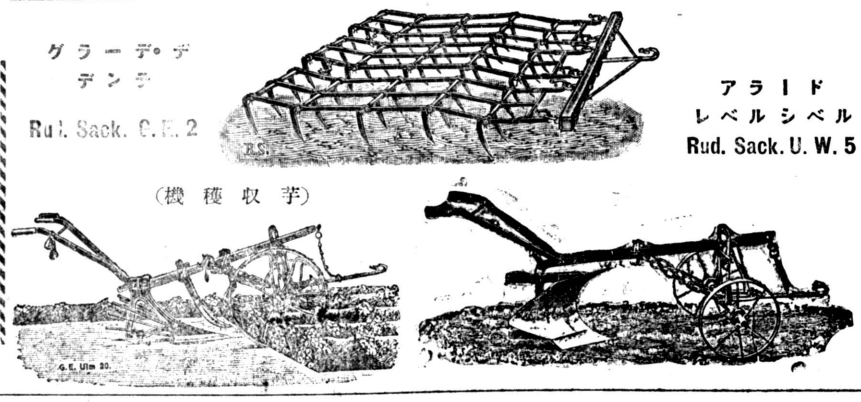
Bromberg & Cia.

SECÇÃO AGRICOLA

SÃO PAULO — RUA FLORENCIO DE ABREU, 67 — CAIXA POSTAL, 756

獨逸式農具に限る

新農年への準備は



CASA DAS SEMENTES

Carlos Corradini

Rua S. Caetano 42 ~ São Paulo

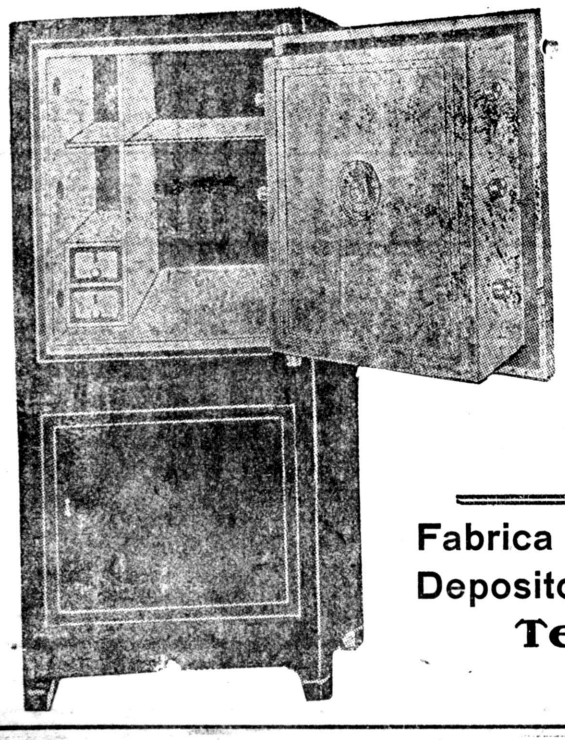
新種子

野菜、花卉の優良種子が澤山到着致しました當店の種子は歐洲各地よりの直輸入品で充分な精撰を經た發芽保證付の品であります特にカナリヤ種、アルゼンチン種のセボラ種子は優秀なるものであります

各種子共安價に差上ます。百餘種の繪入、蒔付季蒔付法のくはしい說明付のカタログ御申越次第進呈。

COFRES, ARCHIVOS E PRENSAS "BERNARDINI"

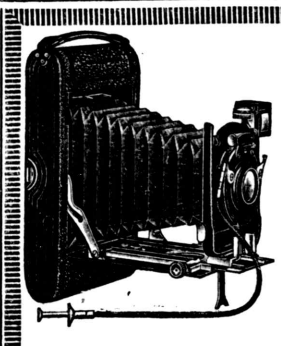
Ugo Bernardini



金文デプ
一スレ
切クス庫庫類

當國主要な銀行大會社間に
好評を博してすまり居て
海外興業會社御用達

Fabrica　Rua Oriente, 187 e 189
Deposito Rua da Quitanda, 16
Telephone 2-1414
São Paulo



DUARTE & SALERNO

RUA S. BENTO, 19
SÃO PAULO
Caixa Postal, 2182
Telephone 2-6318

寫眞機

並に附屬品、材料一切は
最も信用ある當店の
直輸入品に限ります

「アグフア」
「インペリアル」印乾板
「ブラジル・
コダツク」會社代理店
ドアルテ・サレルノ商會

現像、修正並引延し
型錄申込次第進呈

連載大衆小說

槍名盜みの血

長谷川伸

（三）

市兵衛はその翌日から病氣引きをした。いろ〳〵の說が無角の道場で傳へられたが、眞相を語るものは一人もなかつた。無角は、もちろんこの事について一言もしなかつたのである。が門人達を喜ばせたのは、たつた一人、破格をもつて入門を許されてゐた足輕市兵衛が、道場に姿を見せなくなつた事である

市兵衛の病氣は次第に募つたと噂された。さういふ噂をきくと、無角は、身の程を辨へぬ市兵衛めが、まだ珠江のことを想ひつゞけてゐるのではないかと思つた。

『それ共、あいつ、怪我勝利を一度とつたので、おのれの技倆に已惚れて、病中、それをもつて慰めてゐるかな』と嘲り笑ひもしてゐた。

野分の過ぎた日の夜であつた暴風雨の中で働いた人よが、漸く落ちついて睡り深く陷つた夜中に、鵜沼無角の寢間に一人の男が忍び入つた。

その男は、周到な注意を拂つて、長押にかゝげてある名槍中墨を盜みとつて逃げ去つた。

武藝者は朝が殊に早い。無角が眼をさましたのは、未だ曉の色が淺いころであつた。

『やッ、中墨の槍が無い！』

無角ほどの男も、愕然として大聲をあげた。無邊流山本派の正法を傳へた誇りを十分に感じてゐるだけに、流派の祖山本宗久が手澤の名槍、いろ〳〵の傳說來歷のある中墨は、場合によつては一人娘の珠江よりも貴重だと考へることすらあつた。

その名槍を盜まれた。しかも寢首を搔くとすれば、樂よと搔けた狀況のうちに盜まれたのである。無角は落膽と羞恥とで眞青になつた。

精神の混亂が一とわたり鎭まると、無角は、昔、佐藤忠信が太刀を盜まれた故事を考へ浮べた。近世にも青山家の士が槍を盜まれて世の批難を受けなかつた事を思ひ浮べた。で、決心が

間もなくピタリとついた。

『よし。この上は盜人をこの無角の手で捉へ、中墨の槍を奪ひ返すればいゝ』

そこへ、變を聞いて娘の許婚彥阪久彌が驅けつけてきた。

『久彌。早速に驅けつけてくれて有難い』

『何者が盜みましたか。お心當りはございませぬか？』

『あるとも……。大いにあるのぢや』

『何奴でございます』

『布引市兵衛めだ』

『あいつ？』

『市兵衛の外にはない。といふ仔細は、おぬしと珠江とだけには話しておいた。いつぞやの天神森の一件ぢや』

『成程、さう伺へば疑ひもなく市兵衛の所業でございませうが、それにしても何ぞ確かな證據ともなるべきことはございますまいか』

『さあ、それだ。まさしく彼奴だと睨んだものゝ、證據がない。——と申しても棄てゝはおかれぬ。よつて、只今から直ぐに彼奴の家へおしかけ、直よの調べをしてみようかと思ふが、彼奴の家を知つてゐるか？』

『知つて居ります。お供いたします』

『どこだな、彼奴の家は？』

『半里ほどございます。畠中と申すところに、御用苗場の番人を仰付けられて居ります』

『御用苗場？といふと一軒家ぢやな』

『彼奴は兩親を見送つて、只今は弟と妹が一人づゝございます。その弟も妹も中國の木ノ江港へ行つてゐるとやら、只今では彼奴一人でございます』

『病氣だといつてゐたが弟か妹でも呼んだのではないか』

『そのやうには聞いてをりませぬ』

『一人であらうが三人であらうが、一向に、この方では構はぬ。出掛けやう』

無角と久彌とが起ちあがつたところへ、珠江が活氣づいた顏をして急いではいつてきた。

『父上。盜賊の手がゝりがございました』

『何ッ、手がゝりが……。してそれは？』

『裏口へおいでなさりませ。血潮がぽつり〳〵と地に印をつけて居ります』

『血が！』と久彌は勢ひ込んで驅け出した。

（四）

無角の家の裏から血の雫が、滴々として道路に痕を示してゐた。

『久彌、この血の痕をしたつて行けば、自ら槍盜みの賊の所在が知れる』

と無角は赤禿濃髮の頭を振つて、初めてにッこと笑つた。

久彌は血痕のとゞまるところが果してどこであるかを確かめぬうちから、賊が市兵衛であることを疑はなかつた。

『父上、この血は曲者の足の裏からでございます』と珠江が言葉を待つてくだされと賴みました。何故と尋ねまする、何故といふ事もない。ただ、さうあれば私は嬉しいのでございますと申しました。彼奴は尋常でない性質でございます』

『珍らしい性質の奴だ。實はな久彌、天神森で彼奴を藤ケ池に衝き落して以來、彼奴の性根に油斷はならぬと、專ら戒心して來たのぢや。昨夜も多分彼奴は、珠江の寢間を襲うたであらうよ』

『えッ』と久彌は、眞青になつた。

『いや〳〵さう心勞するな。彼奴の性根を見破つた故、珠江もはや九分通りまでは中墨の槍を奪ひ返したも同然ぢや。どれ參らう』

追ひ〳〵驅けつけた友人知己に公邊の届出万端を賴み、無角は眞槍を引ッかつぎ、久彌も亦眞槍を取り寄せて引ッかつぎ、彥阪兩家の僕を一名づゝ隨へて、道路の血潮を辿りながら曲者の行方を求めて歩いた。

血は、時に絕えてゐたが、やがて少し先の處で發見された。岐れ路で迷ふ事もあつたが、手分けして血痕を探したので、朝露に濕つた道路の上に、眞ッ赤な痕が直ぐ發見された。

『久彌、この道は市兵衛の家路か？』

『左樣でございます』

『すると、いよ〳〵もつて賊は彼奴だな。だとすると、斬つてしまひたいな』

『はッ』といふ久彌の眼の色に、熱心な贊同が、はつきりと浮んでゐた。

『彼奴はふて〳〵しい者ぢや槍を盜んだのは槍が欲しくてゞはない。仔細は他にある』と無角は、血痕を辿りつゝ、そつと語つた。

『わしが思ふには、彼奴が在つては珠江の不幸ぢや。それはおぬしの不幸だといふのと同じことぢや。彼奴は口でこそ、珠江樣を想ふは片戀だと承知して想つてゐると申すが、片戀が昂じたらどう變化するか？ 餘の男と違つて、彼奴では油斷も隙もならぬ』

『彼奴は私に、もう一二年祝言を待つてくだされと賴みました。何故と尋ねまする、何故といふ事もない。ただ、さうあれば私は嬉しいのでございますと申しました。彼奴は尋常でない性質でございます』

『珍らしい性質の奴だ。實はな久彌、天神森で彼奴を藤ケ池に衝き落して以來、彼奴の性根に油斷はならぬと、專ら戒心して來たのぢや。昨夜も多分彼奴は、珠江の寢間を襲うたであらうよ』

『えッ』と久彌は、眞青になつた。

『いや〳〵さう心勞するな。彼奴の性根を見破つた故、珠江の寢間には此の頃、內から堅く釘をさし入れ、忍び入ることの出來ぬやうにしてある。その外にも二三、警戒の手段は設けてあるのぢや。で、彼奴め、珠江の方は餘儀なく斷念して、中墨の槍を盜むことにしたのぢや。だからな、お上に願つて捕り方ご免許を蒙り、彼奴をこの際、お處刑討ちにしてしまひたいのぢや。その手續万端は彥阪久太夫殿に今し方賴んでおいた』

久彌の父彥阪久太夫は、權臣の八股肱といはれる內の一人だ處刑が市兵衛と認定されゝば、お處刑討ちが許可されるのに、甚だ好都合な役向きにゐるのである。

やがて畠中。血痕はまだつゞいてゐた。

『あれ、あの一軒家が市兵衛の家でございます』

『こゝまで血痕がつゞいてゐるからは、最早、疑ひもなく賊は市兵衛ぢや』

二人ともにお處刑討ちのご免許のあり次第、有無なく市兵衛を討ち果す決心をした。

無角と久彌とは、僕を一人づゝ從へて、市兵衛の一軒家の表と裏とを見張つた。血痕は家の前の處迄歷々とついてゐた。

公邊の手續きは、呼んで應へるやうに手輕くは行かない。可成りの時刻がかゝつたが、一軒家は後から追ひついてきた多勢によつて、嚴重に見張られたから、市兵衛は袋の鼠であつた。

漸くにしてご免許が出た。それッと詰めかけた一同は勇み立つた。が、かうなれば市兵衛が死物狂ひで鬪ふのは知れたことだ。一同は勇みたつたが同時にまた尻込みもした。さすがに無角と久彌とは當面の人ではあり且つは討ち果すべき他の理由を持つてゐたので、敢然として一軒家を襲つた。

『あッ』と無角は、やがて悲鳴に似た叫びをあげた。市兵衛の姿が無いばかり、名槍中墨は三段に打ち折られ、槍の穗は打ち碎かれてあつたのだ。

『あッ』と久彌が呆れて叫んだ。血痕の賓本は鷄だつた。その鷄のなきがらが座敷の隅に拋り出してあつたのである。

（終）

MOVEIS
家具はカーザ東京へ
受賞數回 邦人家具商の古參
CASA TOKIO
RUA STA. EPHIGENIA, 11-A
TEL. 5-5544 CAIXA. 1005

御料理 すし
うどんそば
致强化內容、改修、清潔を旨として精よ勉よ
店主何卒倍舊の御愛顧を願ひます
コンデ街三十三上坂
あをやぎ
電話 二…八四九一

御料理 鶴の家
ロイレセンコ
ドータルフ 三四

Elixir Nogueira
grande depurativo de sangue
梅毒妙藥
◎萬國藥店に有り

印刷を注文するなら
日伯社

Dr H. SAITO
MEDICO
Rua da Inconfidencia, 6-35
醫學士 齊藤等
バウル市 電話二六九

FABRICA DE MACARRÃO JAPONEZ
SHIROMA & IRMÃO
Av. 13 de Maio, 67 LINS
日本製麵所
リンス
城岡兄弟店

DR. K. DAIAN
MEDICO
Araçatuba
大庵喜八
アラサツバ（大原商店）

BAR KITISE
RUA 7 DE SETEMBRO, 2
バール キチセ
ノロエステ線 リンス市 九月七日街二

CASA AOKI
LINS
內外雜貨
青木商店
リンス郵函一三七

CASA JAPONEZA
GUARANTAN
一般雜貨 農產物買入
村上商店
グアランタン驛

大阪商船會社 日本郵船會社 國際汽船會社
各船舶に食糧賣込業
御用達 ヤマカ合資商會
サントス港マルチン・アホンソ四一 電話一九七三
前田、小淵、合同經營

NAKAI & FILHOS
Caixa Postal, 486
PHONE 101
CATANDUVA
播種機並に農具一式
カタンヂバ市 製造所 中井工場

人氣の中心アルトカフエザール
東洋旅館
貸自動車八三番
梅田金次郎
パウリスタ線マリー、ヤ驛 ルア・サンルイス

Hotel S. Paulo
Rua General Osorio, 24
TEL. 390
Ribeirão Preto
御旅館 サンパウロ
お泊りの節はお休み心地のよい、そしてコミーダのおいしいので評判の……
館主 島崎岩吉
リベロン・プレート停車場通二四
電話……三九〇〇番

HOTEL PAZ
Praça José Bonifacio, 51
SANTOS
ホテル平和
サントスでお泊りは是非本館へ
館主 小濱松治
大阪商船切符取次所

大阪商船會社仲次
成功館
古謝將義
サントス市 ルゴ・セッテ・デ・セテンベロ一五 電話二〇〇八

M. HARADA
ENGENHEIRO
建築 設計 製圖 土地測量 道路設計等の請負監督の御用命に應じます
公認技師 原田政平
R. Barão de Paranapiacaba, 1-9 and. 4-5
Tel. 2-3364 São Paulo

御旅館並御料理
伊勢屋
瀨川すがへ
ノロエステ線ベンナ驛カフエランデイア町

Kaito Usui. Caixa, 140 Cambará E.F.S.P.P.
北パラナ珈琲地帶
御望の方は多少不關臼井介仁事務所へ御問合せを乞ふ

Garage Congresso
貸自動車は同胞運轉手の居る
Teleph. 2-0081 2-0061
ガラージ・コングレッソ
電話 二…〇〇八一 二…〇〇六一
ブラッサ・ジョンメンデス

調味の王
日の出醬油
食のすゝまぬ暑さの折に
お臺所に日の出醬油の一瓶は
お奧方の唯一の味方
日本品直輸入商 中矢商店
郵函……二九九五番
電話……二…二二〇七番

新らしい店で買よい店
母國食料品 小間物
化粧品類 書籍
種子物 金物類
其他母國品の御用は是非弊店へ
聖市イルマン・シンプリシアナ街三〇（舊テアトロ街）郵函二一A
日本品直輸入商 羽瀨商店
（ラルゴ・ダ・セよりコンデ街に入る道路）（渡邊銃器店より十軒目聖市裁判所裏）
奉仕的薄利多賣主義
◉日本式素麵及びマカロンの御注文は左記へ
パラナ州カンパラ市 郵函一〇六
羽瀨製麵所

カルナバル近し

不景氣ながら相當の賑はひを呈せん

期待される自動車のコルソ

毎年次第に淋れて行くカルナヴァル、殊に今年は近來に例のない不景氣さの眞最中である。市民の間に果してどの程度迄の『カルナヴァル氣分』が出るかカルナバル當て込みの商人達も餘程大事を取つてゐるらしい樣子である。

これ迄の例から云へばナタルの賣り出しが濟んで正月一日が過ぎるとすぐもうカルナバルの賣り出しが始まつて、街頭の到る所に香水やセルペンチナの廣告が目に付き出し、當日の一ケ月も前になると各クラブの催しが新聞を賑はして、同時に日曜毎の夕方から夜にかけては氣早な連中がカルナバルの魁をやつて自動車を飛ばすのであるが今年は一月も過ぎて當日迄あとも三週間になつた今日一向それらしい氣配を見せない。

だがカトリック教を信ずるラテン民族の多いブラジルでは、何と云つてもカルナバルと云へば年中行事の最大なもの、不景氣を託ちながらも愈々その日が來ればやはり相當なモビメントを見せるものと一般から見られてゐる。

殊に不景氣を知らず、苦勞と云へば着物や帽子の柄好みをのみするものと考へてゐる婦御前連は前月あたりから寄り〳〵カルナバルの催しに就いて相談をしてゐるらしく、特にこゝ數年來アベニーダ・パウリスタとブラスに別れて行はれた自動車のコルソを今年は昔行なはれてゐた通りに全部をシダーデに集めて、キンゼからアベニーダ・サン・ジョンにかけて遣らうといふ話が纏まつて市役所始めそれ〳〵關係筋へ交渉中の由。

尙今年はカルナバルと大統領選擧日が丁度鉢合せをするので いろ〳〵な風說の手前、警察側から何か八釜しいお達しが出るのではないか、と噂されて居るが警察側で確かめた所によると別にそうした布令は何等出さず只投票場は無論警兵を以て警戒し假裝した者の投票場出入を厳禁するだけに止める由。

文化植民地問題

又々紛糾

植民地問題以來地權問題で再て、森、山田の兩氏は二日夜行三ごた〳〵を繰り返えしてゐるソロ線バラグワス驛の文化植民地では、その後マルチンス側から勝訴の發表があつたりフロリアノ側から裁判判決文の公表があつたりして睨合ひの姿であつたが、今度フロリアノ側では勝訴を楯に同地在住植民者を追い立てる可くフロリアノ氏は十日間以内と云ふ退去命令を携へて去る一日同地に向け出發した由。

又植民地幹部側でもそれと聞いて急據同地へ向つたと。

尙それに對してマルチンス側でも何等か對策を講じつつある由。

人妻を襲ふ暴漢

男が惡か女が罪か？

宛然無警察時代

植民地にあり勝ちな腕力萬能と金權服從の惡習慣。ノロエス線ビリグヤ驛のビラ・ニツポニカで相當に名を知られてゐる寢てゐる所へ堂々と乘りこみ、靴で扉をけり、開けなければ破つて入る亂暴さ夫はその男の亂暴と勢力におそれて裏から逃げると、妻はその留守に身をまかすといふ不可解な事實。常識では考へられぬ此の種の被害女はその男は得意になつてその結果服屋某の妻等七八名もある由。既に浪岡某の妻、安本某の妻洋を吹聽するとの事であるが、植民者の中には相當骨のある者も居り、ピストルを懷中にして石井をはじめ、長崎縣から視察に來て殘された石幹某、町本某の三人をつけねらつてゐる由であるが、男――夫――妻をめぐつて揺き出されたこの苦々しき世相に附近植民者は眉をひそめてゐると。

青年の好學熱と奇特な先生達

去る一月四日落成式を擧行したブレジヨン日本人會館は土地青年諸氏の好學熱と三校四人の先生達の熱心な運動とにより青年補習學校にあてられ近く開校する由。

學ぶ人も週一回の日曜を利用し一人となりをよりのびやかに育てようといふのである。

龍頭蛇尾になり勝な若い人達の熱をさまさない樣歩ませる先生方の苦心がなみ大底ではあるまい。

大使館付武官更迭

帝國大使館附海軍武官の交迭は昨年十二月始の官報で發表されたが、從來の小池大佐は家族同伴、四月三日のモンテビデオ丸で出發歸朝の豫定なりと。猶後任として前兵學校教官蛯來大使館附であつた海軍大佐雪下勝美氏が去る四日夫人同伴にて着京した。

第一支部の定期總會

去る一月廿六日ブレジヨン植民地第一支部では定期總會を同地第一小學校に開く、形の如く議長山下氏の挨拶及役員諸氏の昨年度事業報告等あり續いて本年度事業の協議に移る。

會則の修正本年度豫算案等ありしも協議事項のうち特に目だつたのは山下氏によつて提出された等級割徴稅法案であつた。

即ち年毎に植民自治體の頭をなやます經費の徴收を植民者の生活狀態を基準として等級割にしやうと云ふのである。

日本あたりでは何も珍らしくも目新らしくもない當然な事になつてゐるがブラジルの植民地では事經濟問題に關するこうした事柄はとかくすつたもんだでまとまりがつかないものとされてゐたそれだけに提案者も其の覺悟で提出したものらしいが行きとどいた合理的な說明と時代に生きる理解者の多い植民者との呼吸が合ふた爲か二三の質問あつた後難なく委員附託で可決、こうした事柄は植民地の自治が進むにつれて當然たどる可き道程ではあるが卒先し實行に迄漕ぎつけた事は近頃植民地の會としては特筆に價することで、めざめ行く植民自治体の姿がしのばれる。

因に本年度支部役員の顔ぶれは

支部長　山下定八
副支部長　吉雄武保
學務委員　
理事　中村福太郎
　　吉永猪太郎
　　宮下吉太郎
會計　竹澤太一氏退社

海興ブラジル支店長取締役竹澤太一氏は昨年九月以來歸國中のところ去一月廿六日付を以て退職した。後任は現支店長代理白鳥兎助氏が昇進してその儘支店長になつた。

滯納者の罰金免除

車馬稅納入期延期

一九三〇年度、車馬稅納入期（一九二九年十一月廿七日發布の現行法）を本年二月廿八日迄延期する件

右提案討議の結果、第一提案中『一九二九年度』とあるのを『從來の』と訂正、第二提案中『二月廿八日迄』とある所を、聖市市々會では去る一日臨時會議を開き、不景氣の折柄左の議案を提出、一二の修正あつて可決した。

第一提案
一九二九年度稅金滯納者に對する罰金免除の件

第二提案
本月上旬本會定期總會開催致し會則其他の事項大改新を加へました、本會は從來ありふれたる同志會とは其趣を異にして偏せずして當植民地の極力融和結合に力めて以て其の全眞的發達を促進せんための會であります。新入會者多數ありて挨拶等あり、續いて役員改選の結果左の通り決定致しました

共和植民地同志會々長　中村源治
同　副會長　山本文三郎
同第一區幹事　森熊吉
同　幹事　谷川彦松
同第二區幹事　上村芳太郎
同第三區幹事　笹岡愛海
顧問　紫垣安太郎

昭和五年一月
ペンナポリス驛
共和植民地同志會

鎌倉丸呼寄移民氏名

愛知縣　加藤孝平
石川縣　西野重雄
岡山縣　高橋丈夫
山口縣　佐藤勘七
　　タ　初吉
　　ケ　一
　　ク　義人
　　ン　澤田義
　　ン　小濱松助
　　ン　古謝將義
　　ン　城間盛順
島根縣　平井春惠
鳥取縣　澤田寛
福岡縣　ハツヨ
　　ン　ツタエ
　　ン　正美
　　ン　中原榮助
鹿兒島縣　宇根良信
沖繩縣　ン　カマド
　　ン　ン　良明
　　ン　ン　オト
　　ン　ン　新垣梅助
　　ン　ン　島袋美智子
　　ン　ン　玉城清賢
　　ン　ン　大城マツ
　　ン　ン　島袋平太
　　ン　ン　松田ペ
　　ン　ン　親川喜一郎
　　ン　ン　仝善一郎
　　ン　ン　東江ウシ
　　ン　ン　外間松
　　ン　ン　湧川ウト
　　ン　ン　新垣榮保
　　ン　ン　米須清吉
　　ン　ン　喜屋武メカ
　　ン　ン　宮平カマト
　　ン　ン　小波津正吉
　　ン　ン　賀數カマ
　　ン　ン　仲里カマ

本稿は來る貳月貳拾壹日サントス入港の豫定なり呼寄關係者は至急現住所御通知相成度候

海外興業株式會社
伯國支店
Caixa Postal, 3015
S. Paulo

マラリヤ
熱病一切によくきく
十五日間に全治する
（豫防には日に二粒づゝ服用）
小供には飲みよい水藥
ESANOFELINA
萬國藥店あにとり
元寶販
EMILIO AJROLDI & CIA.
SÃU PAULO: CAIXA, 907
RIO DE JANEIRO: CAIXA, 2171
ESANOFELE CONTRA AS FEBRES PALUSTRES FELICE BISLERI & C. MILAO

英語教授
マッケンヂー大學前教授が英語を懇切丁寧に教へます、自宅、出張、應希望。
Rua Martinico Prado, 42
(Antiga Rua Vitales)

ボタフオーゴ印
紳士向御帽子
リオ一流工場出來
大賣出し中
R. Riacheilo, 17 - S. Paulo

裁縫斷裁
無料教授
聖州教育局一等公認、サンタ・イグネーズ裁斷學校は今回御婦人方に無料教授を致します。至急申込あれ。實、夜何れにても可。
Rua Liberdade, 220
Esq. [Condessa S. Joaquim] S. Paulo

爲替（ロウバンサ）
（一月六日現在）
戰擧見越しで幾分强腰し
ロンドン向……五片六四分五一
ニューヨーク向……八・九三〇
ブエノス向……三・五五二
▲正金銀行扱郷里送金換算率
邦貨圓に付……四・四一〇

Sociedade Colonizadora do Brasil Ltda.
Rua Alvares Penteado, 30 - 2.º And.
Tel. 2-1342 - Telg. Ijurengo
CAIXA POSTAL, 2975 - SÃO PAULO
土地分讓案內
一、バストス、チエテ兩移住地とも、いつでも土地を分讓します
一、ハガキでお申込下されば、案內書を差上げます
一、兩移住地とも視察を歡迎いたします
有限責任ブラジル拓植組合

新古サツコ
卸小賣商
J. Curado
Rau Marquezde Herval, 75
Santos Tel. 1568

Dentista
BIRIGUY
Villa Conceição
齒科醫
伊藤達馬
ビリグヤ
ビラ・コンセイソン

珈琲精撰及珈琲仲買業
株式會社
三益商會
レジストロ植民地

Laurentino Machado
Em Jacarehy
野菜採培者募集
場所はヂヤカレイから徒歩で十分間、パライーバの川邊にて霜害及び洪水の憂ひ絶對になく野菜特にトマテには絶好の十アルケールス餘の最良の住宅付の菜園を貸します
御希望者は左記宛御問合せ下さい

Luiz, Santos & Cia.
Rua José Bonifacio, 35
TEL. 2-2076 - S. PAULO
衛生用具
湯殿、洗面所
便所用具
コンネツソン各種其他
衛生設備
用具一切
飛切格安値

Cia. Santense de Navegac.
サントスイグアペ間を最も速に往復する客貨物船
イタイツーバ
サンセバスチオン、ビラベーラ、カラガタツーバ、ウバツーバ行
各火曜日午後十時
カナネヤ、イグアペ行
各土曜日午後四時
サントス發ストンサ取
ストンサ店本
A. M. TEIXEIRA & CIA. LTDA.
Praça da Republica, 55
店支ロウバンサ
A. FREIRE & CIA.
Rua Libero Badaró, 10
店理代ペアグイ
I. R. F. MATARAZZO

ンシミーガンシ
取次販賣
最新型洋服
可嚀で
期限確實
（隣の館旅盤常）三四街デンコ市聖
番〇九六三…二　話電出呼
石井洋服店
（內店商保久）店支ロトスヂレ
任主
松德崎宮

ZERRENNER, BÜLOW & CIA LTDA
SECÇÃO TECHNICA
製氷機「リンデー」、HMG印重油モートル
製鑵機、製材機、ポンプ、マンテイガ製造機一式、ブリキ、鐵材、裁斷機、精米機「ブラジル」型、洗濯機械、煉瓦製造機、VOMAG印カミニヨン
部作工會商一ロ一ユビ．ルネンレエツ
RUA MAUA, 279 - 283 - S. PAULO

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil

Anno XVI | São Paulo — Quinta-feira, 6 de Fevereiro de 1930 | Num. 662

Greve na fabrica de cimento "Asano", de Moji

Realisou se em Osaka uma feira de "artigos baratos"

O governo de Soviet manifestou sua culpabilidade nos ultimos incidentes de Mandchuli

O ministerio da Instrucção pleiteia uma baixa nos preços de livros escolares

E' satisfatorio o reembolso dos creditos abertos pelo Banco do Japão

O imperador Hirohito fez varios donativos para fins caritativos

Dr. Y. KIKUCHI
MEDICO

REGISTRO — IGUAPE

500 operarios em greve na fabrica de cimento "Asano"

TOKIO, Janeiro de 1930 – Desde o fim de dezembro ultimo, acham-se em parede mais de 500 operarios da fabrica de cimento da Companhia Asano, de Moji, a maior no genero na Asia. Na tarde do dia 26 daquelle mez, após o encerramento dos trabalhos da turma diurna, esses operarios, de ambos os sexos, se dirigiram á séde da Liga Japoneza de Trabalhadores Maritimos, em Minato, declarando-se em greve. Desde então, as 11 chaminés, altas e baixas, que ostentavam a nossa actividade industrial com enormes ondas de fumaça, perderam aquelle aspecto gigantesco. São varios os motivos que levaram o operariado do nosso principal estabelecimento industrial a taes medidas. Entretanto, parece-nos que a razão esteja com os grevistas. E' que na manhã de 24 de dezembro ultimo, verificou-se a morte do operario Kiichi Hara, victima de um accidente, que não teve tratamento a que fazia jús, por parte da empreza. O outro motivo que justifica essa parede, é o caso da demissão dos operarios Shigeji Miki e Shigeichi Matsumoto, em 25 do mesmo mez, por pertencerem á Liga dos Operarios em Cimento. E outro motivo, que é o mais sensacional, é o pedido de augmento de 10% nos seu salarios. A empreza até hoje não deu solução alguma a respeito e parece-nos estar em pé de firmeza contra a parede.

FEIRA DE "ARTIGOS BARATOS"

OSAKA, Janeiro de 1930 — Teve um movimento que se não esperava, a feira de "artigos baratos" promovida pelas alumnas de duas escolas femininas desta cidade, com o nobre intuito de servir a classe mal provida, tendo comparecido mais de 2.000 pessoas, que compraram perto de . . . 10.000 objectos expostos. A importancia das vendas subiu a mais de 100 yens e será empregada em caridades.

ORÇAMENTO 1930 - 1931

TOKIO, Janeiro de 1930 — De accordo com nossa correpondencia anterior, abaixo daremos o orçamento da despeza a vigorar entre abril de 1930 e março de 1931:

Ministerio	*Ordinaria*	*Extraordinaria*	*Somma*
Casa Real	4.500.000		4.500.000
Relações Exteriores	15.899.000	2.837.000	18.736.000
Interior	45.608.000	88.452.000	134.061.000
Fazenda	324.923.000	18.967.000	343.890.000
Guerra	181.219.000	31.294.000	212.513.000
Marinha	152.166.000	111.141.000	263.308.000
Justiça	34.179.000	733.000	34.913.000
Instrucção	131.874.000	12.176.000	144.050.000
Agricultura e Floresta	31.347.000	27.287.000	58.624.000
Commercio e Industria	5.214.000	6.165.000	11.380.000
Viação	297.884	49.610.000	347.494.000
Colonisação	2.487	26.709.000	29.197.000
Somma	1.227.303.000	375.367.000	1.602.671.000

O orçamento da receita está assim discriminado:

Receita ordinaria	1.525.453.227
Receita extraordinaria	77.218.258
Receita commum	44.992.256
Saldo anterior	32. 26.002
Somma	1.602.671.485

Os prejuizos soffridos pelos subditos nipponicos nos ultimos incidentes sino-russos occorridos em Mandchuli

TOKIO, Janeiro de 1930 – O governo de Soviet enviou ao nosso governo uma nota diplomatica, reconhecendo officialmente a culpabilidade da Russia pelas mortes e damnos causados á vida e bens dos subditos japonezes residentes em Mandchuli, por occasião dos ultimos incidentes alli occorridos entre os russos e chinezes, e promette indemnizal-os convenientemente. A nota de Soviet diz que o governo já providenciou nesse sentido.

Baixa nos preços de livros escolares

TOKIO, Janeiro de 1930 — Tendo sido terminado o prazo contractual entre o ministerio da Instrucção e varias livrarias que teem exclusividade para explorar a industria de livros escolares officialmente adoptados, o ministerio da Instrucção convidou todas essas emprezas livreiras para apresentarem as bases de novos contractos. Nesse convite, o governo aconselha que para melhor racionalizar a industria livreira em nosso paiz e, conseguintemente, probabilitar a baixa nos preços de livros que elle pleiteia, fosse feita a fusão de todas as emprezas existentes, no melhor interesse para todos. Annuindo promptamente esse conselho, aliás justo, as emprezas livreiras estão convocando assembléas extraordinarias, afim de resolver sobre o mesmo.

Reembolso dos creditos abertos pelo Banco do Japão

TOKIO, Janeiro de 1930 — Em virtude dos importantes reembolsos ultimamente recebidos pelo Banco do Japão, a situação dos creditos abertos pelo nosso principal estabelecimento de credito aos bancos é prospera. Assim, dos 88 bancos devedores restam agora 58, e apenas 599.500.000 yens estão para ser reembolsados.

Dr. S. TAKAOKA
MEDICO-OPERADOR

Rua Fagundes, 8
Tel. 7-4683 — S. PAULO

Louças, Artigos Japonezes e Nacionaes

K. NISHITANI

IMPORTADOR E EXPORTADOR

Rua Conceição, 68
End. Teleg. NISHITANI
Caixa do Correio, 1134
RIO DE JANEIRO

Os donativos do imperador Hirohito ás agremiações pias

TOKIO, Janeiro de 1930 – Foi avisado pelo ministerio da Casa Real de que o imperador Hirohito resolveu este anno doar a somma de 41.000 yens, para ser distribuida entre varias agremiações pias existentes em nosso territorio, para ser empregada nas obras caritativas promovidas pelas mesmas. Todas as associações attingidas por esses donativos reaes, em numero de 16, já compareceram perante aquelle ministerio, pelos respectivos representantes, afim recebel-os.

O serviço dentario nas escolas particulares situadas no districto de Tokio

TOKIO, Janeiro de 1930 — O sr. Ushizuka, prefeito desta capital, acaba de sanccionar uma lei, pela qual o Serviço Sanitario obriga as escolas particulares situadas nestes districto, a installarem um gabinete dentario nos seus estabelecimentos, com um dentista permanente.

ASSUMPTOS AGRICOLAS

A CAMPANHA DO FUMO

(Continuação)

Cumpre assignalar tambem que o Serviço Technico de Fumo continuou, até o dia 31 de Dezembro ultimo, a distribuição gratuita de sementes seleccionadas, especialisadas para a producção de fumo em folha. Nos mezes anteriores já tinham sido distribuidas sementes para o plantio de 175 1/2 alqueires paulistas. Durante os mezes de Novembro e Dezembro, a distribuição se fez em quantidades sufficientes para o plantio de mais 66 alqueires. Assim, o numero total de pedidos attendidos em 1929 foi de quantidade sufficiente para plantar 241 e meio alqueires paulistas. A ultima distribuição foi feita para os seguintes municipios:

Amparo 12 1/2 alqueires; Piracicaba, 7; Soccorro e São Bento do Sapucahy, 6; Botucatú, 4; Guarantan e Fartura, 3 1/2; Rio Preto, 3; Bragança, 2 1/2; Assis, Cascavel, Santa Cruz do Rio Pardo, Cafelandia, Araraquara, Pennapolis e Avahy, 2; Ourinhos, Jundiahy Brodowski e São Roque, 1 alqueire.

Outra prova evidente do interesse que está despertando a campanha, reside no facto de terem crescido constantemente os pedidos de visitas, instrucções, etc., por parte dos lavradores interessados em iniciar a cultura racional do fumo. Por falta de tempo, pois que os trabalhos se desenvolveram muito, o Serviço Technico de Fumo deixou de attender a diversos pedidos. Só de Prefeituras municipaes, não puderam ser attendidos, por aquelle motivo, dez pedidos de visitas. Entretanto, durante o ultimo mez do anno passado, os technicos do Serviço de Fumo percorreram 21 municipios situados nas mais diversas regiões do Estado, visitando inumeras culturas. Durante o mesmo periodo, foram concluidos os armazens para fermentação e embalagem de fumo em folhas, construidos de accôrdo com os projectos do Serviço Technico de Fumo, por lavradores de Novo Horizonte e São Bento do Sapucahy. Foi tambem construida uma ante-camara na frente da estufa de São Miguel Archanjo.

Está o governo do Estado cogitando, ainda, da criação de um campo de estudo e producção de sementes de fumo. Os technicos do Serviço de Fumo já estiveram, mesmo, em visita á Escola Agricola "Luiz de Queiroz", de Piracicaba, afim de escolherem, nos terrenos daquelle modelar estabelecimento, uma area propria para a installação em apreço.

Durante o corrente anno, a distribuição de sementes seleccionadas para a producção de fumo em folhas será a partir de 15 de Agosto, para a colheita de 1931.

NIPPAK SHIMBUN

Propriedade e direcção de:
SACK MIURA

Redactor:
Jorge T. Midorikawa

Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telegraphico "NIPPAK"
SÃO PAULO – BRASIL

ASSIGNATURAS

Para o Brasil:

Por anno	30$000
Por semestre	16$000
Numero avulso	$500

Para o Exterior:

Por anno	60$000

ANNUNCIOS

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha. Telephone 2-3926

I. SHIOKAWA

UNICO IMPORTADOR DA PORCELLANA
MARCA
Noritake

SÃO PAULO
R. Brigadeiro Tobias, 96 e 96-B
TELEPHONE 4-6367
CAIXA POSTAL 1714
End. Tel. "ELNIPPON"

Edição de 8 paginas

JAPONEZES
NO JAPÃO e NO BRASIL

Prof. BRUNO LOBO

26

A IMMIGRAÇÃO JAPONEZA

(Continuação)

Cremos que as publicações, quasi todas da Igreja Positivista, que acompanham esta carta, bastarão para melhor esclarecer-vos sobre esses ensinos de Augusto Comte.

Todo vosso, no Amor, na fé, e no serviço da humanidade.

— *R. Teixeira Mendes*, 120, Rua Bemjamin Constant (sobrado).

Insistimos nesta citação com grande prazer, principalmente porque temos lido o nome do sr. R. Teixeira Mendes citado como contrario á immigração japoneza, como acontece em um passo do livro do dr. Nestor Ascoli, no estudo sobre a localização dos japonezes na baixada do Estado do Rio de Janeiro (pag. 62).

* * *

No parecer acima citado do eminente director intellectual de grande numero de brasileiros, fala o coração, emquanto no do illustrado jurisconsulto, consultor geral do Ministerio das Relações Exteriores e autor do projecto do nosso Codigo Civil, dr. Clovis Bevilaqua, transparece grande patriotismo e sentimentos fortes e sãos:

Rio, 17 de outubro de 1921 — Exmo. sr. dr. Fidelis Reis. Saudações cordiaes. Quiz V. Ex. dar-me a honra de ouvir minha opinião a respeito do projecto apresentado á Camara dos srs. Deputados, no intuito de impidir a entrada, em nosso paiz, de immigrantes norte-americanos de côr preta.

Minha opinião é que, si o projecto não fere a letra da Constituição é injusto, e contraria tanto as tradições liberaes de que, com justiça, nos ufanamos e devemos manter, quanto os sentimentos humanos de fraternidade e benevolencia, que urge fomentar e salvar da crise aguda que ameaça subvertel-os.

A constitucionalidade do projecto, neste ponto, não offerece duvida.

É certo que o art. 72 § 10, do Constituicão assegura "a qualquer" o direito de entrar no territorio nacional, em tempo de paz, "quando e como lhe convier". Mas essa garantia é concedida aos nacionaes e "aos estrangeiros residentes no paiz". Os immigrantes ainda não residem no Brasil: portanto não podem invocar a protecção que a lei offerece aos que, se achando no paiz, delle se afastaram temporariamente.

Mas é injusto o projecto, porque abre excepção odiosa contra individuos que não merecem esse tratamento.

A raça negra, que Augusto Comte chamou affectiva, não póde ser o elemento perversor que justifique essa interdição. Si á sua conta imputam actos criminosos, não serão nem mais frequentes nem mais graves do que os commettidos pelos brancos, e muitos desses actos resultam da situação de proscriptos do meio social, onde se encontram.

Depois, como observa Oliveira Lima, não é de recear que venham esses immigrantes de côr em massa tão grande que, difficilmente, possam ser assimilados, ou que perturbem a evolução normal do nosso typo ethnico.

E, quanto aos predicados intellectuaes, não podemos desconfiar que sejam negativos os da raça negra, nós que em nossa litteratura, como na politica e nas artes, temos tido individualidades superiores, cuja epiderme estava a denunciar ascendencia africana. Caldas Barbosa, Gonçalves Dias, mestre Valentim, Rebouças, Tobias Barreto, Patrocinio, Cruz e Souza, e tantos outros não eram aryanos sem mescla.

O sabio anthropologiata brasileiro, dr. João Baptista de Lacerda, em memoria remettida ao Primeiro Congresso Universal das Raças, salientou a cooperação valiosa dos mestiços no engrandecimento do Brasil. Nesse Congresso, onde se procurou discutir "á luz da sciencia e da consciencia" o problema das raças, ha documentos muito instructivos da injustiça que as raças, que se pretendem superiores, fazem ás que ellas classificam de inferiores. Afasto-me, porém, desse terreno, e quero apenas consignar a opinião de John Gray, deduzida de interessantes dados estatisticos. Estabelecendo elle que a posição intellectual depende em parte da capacidade natural, e, em parte, da opportunidade para o cultivo, reconhece que o negro, na Africa, não se mostrava capaz de ir além de uma educação elementar, porém, grandes exitos se teem obtido com a educação industrial do preto tanto na propria Africa, quanto na America.

As nossas tradições liberaes foram uma vez traduzidas, com muito sentimento e verdade, pelo Barão do Rio Branco, ao fallar a congressistas estrangeiros aqui reunidos: "Elles dirão, sem duvida, que viram uma bella terra, habitada por um bom povo; terra generosa e farta, povo laborioso e manso, como as colmeias, em que sobra o mel". Mantenhamos as linhas desse quadro. Continuemos a ser uma democracia aberta a todas as actividades honestas, um povo generoso e hospitaleiro, que a todos recebe de semblante alegre.

Si o immigrante é criminoso ou portador de algum virus, fechemo-lhe a porta, porque o nosso paiz não é presidio nem hospital. Mas por ter escuro pigmento, que lhe dá côr á pelle, não o consideremos um reprobo.

Afastemos de nossas vistas as nuvens sombrias de prevenções odiosas, que se teem accumulado sobre a humanidade e que a grande guerra tornou ainda mais densas. Estimulemos, de preferencia, os sentimentos de concordia, a cooperação cordial de todos, que sobre essas columnas é que repoisa o progresso moral.

Com essa orientação, bem vê o meu illustre patricio que não posso dar a minha adhesão ás idéas do projecto.

Aqui termino, lamentando não ter podido trazer, para a solução do caso, as luzes que o meu illustre patricio, influenciado por uma illusão que me desvanece, esperava do meu senso juridico e da minha experiencia. Ouso acreditar, entretanto que, apesar da decepção, continuará a me conceder a sua honrosa estima. — *Clovis Bevilaqua.*

* * *

Por outro lado, não devemos silenciar sobre o parecer do illustrado Professor Afranio Peixoto, na sua simplicidade e em termos incisivos colloca o Professor Afranio Peixoto a quetão nos seus verdadeiros termos, fazendo apenas restricções no que respeita a entrada em massa dos quinze milhões de negros americanos, restricções certamente de ordem esthetica e politica, dade a alta educação philosophica do erudito professor de Hygiene da Faculdade de Medecina.

Rio, 4 de novembro de 1921 — Exmo. patricio e amigo sr. dr. Fidelis Reis — Não recebi a carta, a que allude V. Ex. na resposta que deu ao meu agradecimento á dadiva de seu livro.

(Continúa)